

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>


注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。
- 部材変形防止のため、製品保管状況を確認してください。
 - ・当製品は、木粉入り高密度樹脂製でできており、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。
 - ・平らな場所に保管してください。（立てかけて置かないでください）
 - ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
 - ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- 設置場所を確認してください。
 - ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。
 - ・施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
 - ・本製品は一般住宅の一階相当部施工用です。それ以外の場所への取付けはおやめください。
- T-14、18をデッキ上に設置する場合は、あらかじめ指定の箇所に床板補強材を組込み施工してください。
- 施工プランと必要部材が揃っているか確認してください。

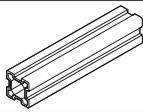
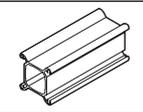
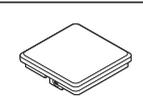
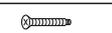
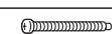
<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・ 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、耳、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・ 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・ 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・ 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・ 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分確認し、健康管理を実施してください。
 - ・ 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の指示通りに組付けてください。製品の強度の低下、材料破損をする場合があります。
- ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- 支柱の水抜き穴は、モルタル等でふさがらないでください。
- コンクリートまたはモルタルには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食の原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 施工中についた表面すりキズは、引き渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って（平行）行なってください。
- 施工中についた表面の汚れやシミは、引き渡し前に水洗いをしてください。中性洗剤を薄めたものを使用した場合は、よく水洗いをしてください。

■梱包明細表

【1】支柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-10以下	T-12以上
支柱（ベース仕様）		1	1
柱下側スリーブ材		1	1
柱キャップ		1	1
【1-1】φ4×20サラタツピン3種		4	6
【1-2】φ5×40ナベタツピン2種G=5		4	4
【1-3】φ4×16サラドリルネジ		2	2

■ 梱包明細表

【2】アルミ支柱セット・ベース仕様

名 称	略 図	員 数
アルミ支柱 (ベース仕様)		1
柱キャップ		1
【2-1】φ5×40ナベタッピン2種G=5		4
【2-2】φ4×16サラダリルネジ		2

【3】支柱セット・埋込仕様

名 称	略 図	員 数	
		T-12以下	T-14以上
埋込用支柱 (T-12以下)		1	—
埋込用支柱 (T-14以上)		—	1
柱キャップ		1	—
埋込用柱キャップ		—	1
【3-1】φ4×16サラダリルネジ		2	—

【4】ベース用コーナー柱セット

名 称	略 図	員 数
コーナー柱 (ベース仕様)		1
コーナー柱化粧材		1
【4-1】φ4×35サラダリルネジ		2

【5】埋込用コーナー柱セット

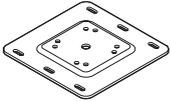
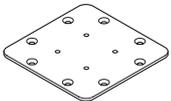
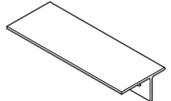
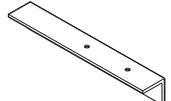
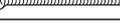
名 称	略 図	員 数	
		T-12以下	T-14以上
コーナー柱 (埋込仕様)		1	1
コーナー柱化粧材		1	1
【5-1】φ4×35サラダリルネジ		2	3

■梱包明細表 (つづき)

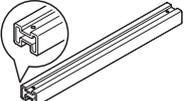
【6】柱控え部材セット (T-14以上)

名 称	略 図	員 数
柱控え部材		1
【6-1】φ5×30ナベドリルネジ		2
【6-2】φ5×70ナベドリルネジ		3

【7】ベースプレートセット

名 称	略 図	員 数			
		大引き 固定用	床板補強材 固定用	床板 固定用	コーナー柱 固定用
ベースプレート		1	1	1	—
ベースプレート(コーナー柱用)		—	—	—	1
フェンス-大引き固定アングル		2	—	—	—
フェンス固定アングル		—	—	2	2
【7-1】φ4×13ナベドリルネジ		4	—	—	—
【7-2】φ5×60ナベドリルネジ		6	6	5	—
【7-3】M5×60トラス小ネジ		—	—	2	—
【7-4】φ4×30サラタップピンネジ		—	—	—	4
【7-5】φ5×65サラドリルネジ		—	—	—	5
【7-6】M5×60サラ小ネジ		—	—	—	2

【8】上下棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
下棧		1
下棧受け部品		2
ゲージプレートE		1
修正用研磨紙A		1
クッション材		6

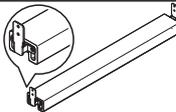
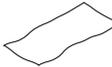
【8】上下棧セット(つづき)

名 称	略 図	員 数
【8-1】φ4×30ナベドリルネジ		4
【8-2】φ5×25ナベタッピン3種		2
【8-3】φ4×25ナベドリルネジ		4
取扱説明書<UE057>	—	1
取付説明書<E205>	—	1

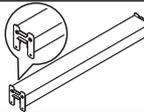
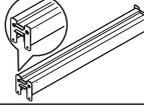
【9】切詰用上下棧取付金具セット

名 称	略 図	員 数
上棧受け金具		2
下棧受け部品		2
【9-1】φ4×13サラドリルネジ		2
【9-2】φ4×20ナベタッピンネジ2種 G=5		4
【9-3】φ4×30 ナベドリルネジ		4
【9-4】φ5×25ナベタッピン3種		2
【9-5】φ4×25ナベドリルネジ		4

【10】上棧セット

名 称	略 図	員 数
上棧		1
ゲージプレートC		1
修正用研磨紙A		1
【10-1】φ4×25ナベドリルネジ		4
取扱説明書<UE057>	—	1
取付説明書<E205>	—	1

【11】中棧セット

名 称	略 図	員 数	
		横ビーム パネル用	プライバシー パネル用
中棧(上段ビームパネル)		1	—
中棧		—	1
【11-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		4	4

■梱包明細表（つづき）

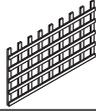
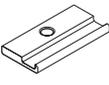
【12】ラチスパネルセット（密目タイプ）

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス枠固定金具		—	4
【12-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
【12-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	4
【12-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	2
【12-4】M4六角袋ナット		—	4
【12-5】M4平座金		—	8

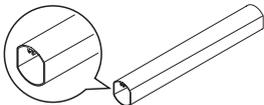
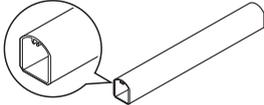
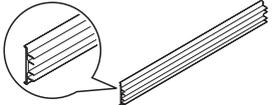
【13】ラチスパネルセット（粗目タイプ）

名 称	略 図	員 数	
		T-14以下	T-18
ラチスパネル		1	1
ラチス枠固定金具		—	4
【13-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	8
【13-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	4
【13-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	2
【13-4】M4六角袋ナット		—	4
【13-5】M4平座金		—	8

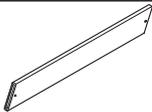
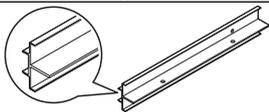
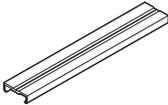
【14】井桁格子パネルセット

名 称	略 図	員 数		
		T-08,T12	T-10,T14	T-18
井桁格子パネル		1	1	1
格子パネル振れ止め		2	—	—
ラチス枠固定金具		—	—	4
【14-1】φ3.8×20ナベ特殊ネジ		—	—	8
【14-2】φ4×20トラスタッピン3種		—	—	4
【14-3】φ4×30トラスタッピン3種		—	—	2
【14-4】M4六角袋ナット		—	—	4
【14-5】M4平座金		—	—	8

【15】横ビームパネルセット

名 称	略 図	員 数		
		H400	T-08	T-10
ビーム棧		2	2	3
下段用ビーム棧		—	1	1
ビーム棧枠材		2	2	2
ビーム棧枠材受け金具		—	2	2
クッション材		2	2	2
【15-1】φ4×20ナベタッピン2種G=5		4	6	8
【15-2】φ4×19ナベドリルネジ		—	2	2
【15-3】φ4×30ナベドリルネジ		4	4	4

【16】クロスパネルセット

名 称	略 図	員 数
クロス棧		2
クロス棧枠材		2
下棧溝隠し材		1
クッション材		2
【16-1】φ5×30トラスタッピン3種		4
【16-2】φ4×30サラドリルネジD=6		4
【16-3】M4×45トラス小ネジ		1
【16-4】M5六角袋ナット		4
【16-5】M5平座金		8
【16-6】M5バネ座金		4
【16-7】M4六角袋ナット		1
【16-8】M4平座金		2
【16-9】M4バネ座金		1

■ 梱包明細表 (つづき)

【17】プライバシーパネルセット

名称	略図	員数	
		H600以下	T-08以上
ポリカパネル上乘せ		1	—
ポリカパネル		—	1

【18】LED照明ユニット **オプション**

名称	略図	員数
LED照明ユニット本体		1
取付金具		2
【18-1】φ4×13ナベドリルネジ		2
【18-2】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2
【18-3】φ4×50トラスタッピンネジ 1種		2

【18】LED照明ユニット (つづき) **オプション**

名称	略図	員数
取付説明書〈Z217〉	—	1
取扱説明書〈UC015〉	—	1

※生地色は、配線カバーがシャイングレーの場合に使用します。
 ※ブロンズ色は、配線カバーがマイルドブラック、オートムブラウンの場合に使用します。

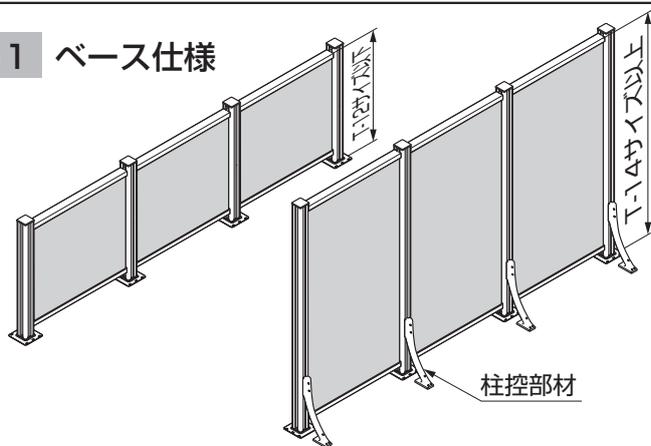
【19】本体セット

名称	略図	員数
DHH-3型 ※		1
取付金具		2
取付説明書〈Z219〉	—	1
取扱説明書〈UZ215〉	—	1

※部品類はDHH-3型に付属しています。

1. 施工時の重要注意項目

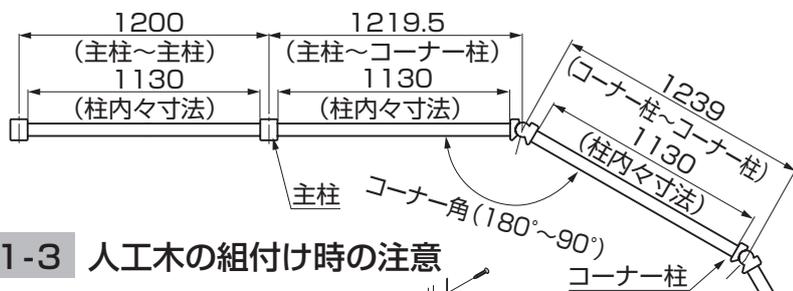
1-1 ベース仕様



⚠ 注意

- T-14以上のフェンスには、必ず柱控え部材を組付けてください。
- 組付けをしないと強度不足による事故の恐れがあります。

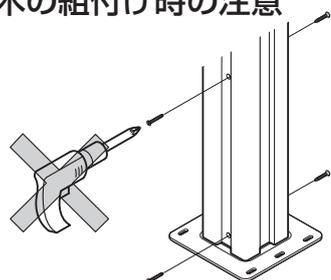
1-2 コーナー柱仕様



🔑 ポイント

- 柱控え部材の下に、床板補強材が入っていることを確認してください。床板補強材の取付方については、「樹の木Ⅲ〈E203〉」の取付説明書を参照してください。

1-3 人工木の組付け時の注意



✎ 補足

- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが変わりますので注意してください。
- コーナー角の対応角は180°~90°です。

🔑 ポイント

- 人工木の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

2. 基本寸法図

2-1 ベース仕様 T-8~12

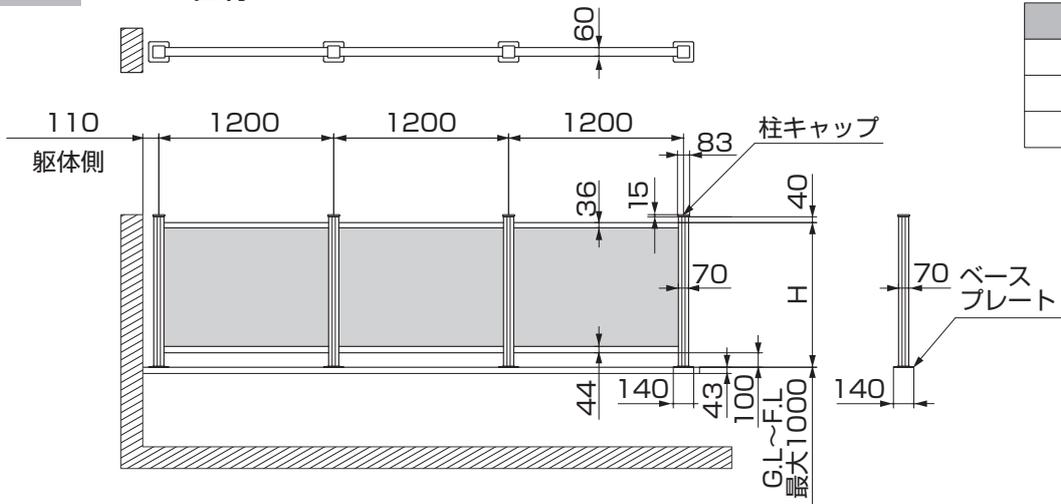


表2-1

呼称	H寸法
T-08	800
T-10	1000
T-12	1200

2-2 ベース仕様 T-14・18

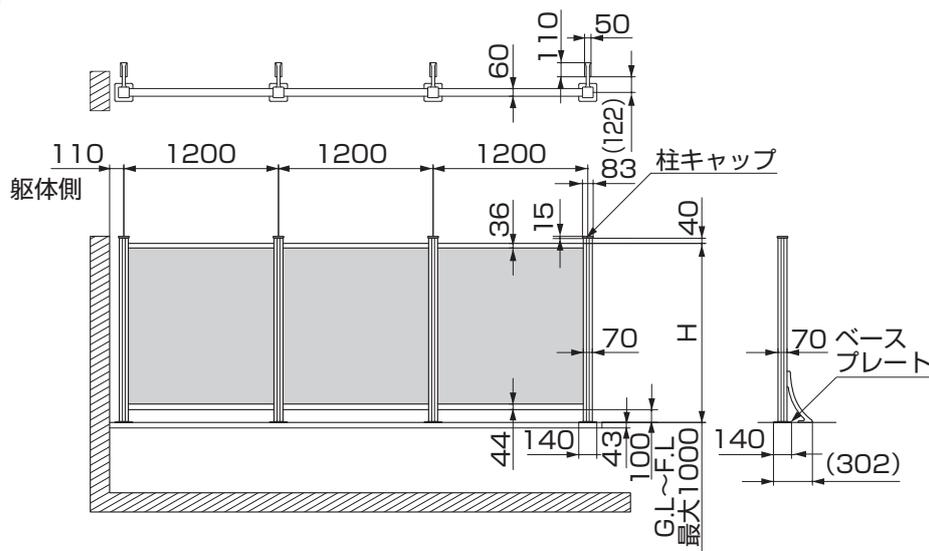


表2-2

呼称	H寸法
T-14	1400
T-18	1800

2-3 埋込仕様 T-8~12

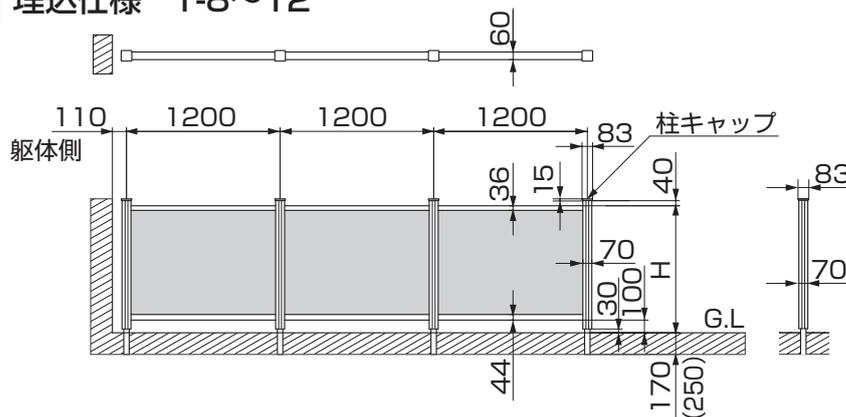


表2-3

呼称	H寸法
T-08	800
T-10	1000
T-12	1200

 補足

● () 寸法はT-12の場合です。

2. つづき

2-4 埋込仕様 T-14・18

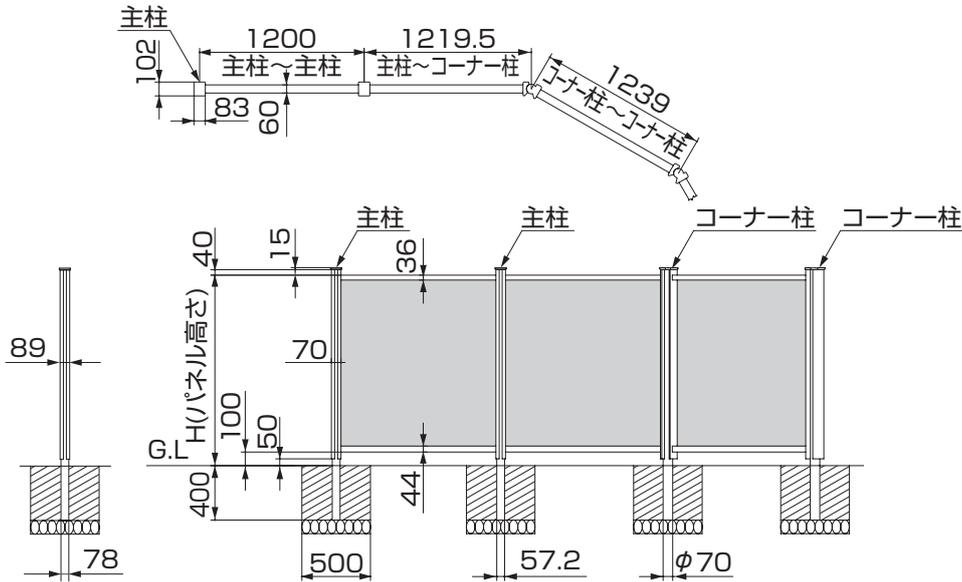
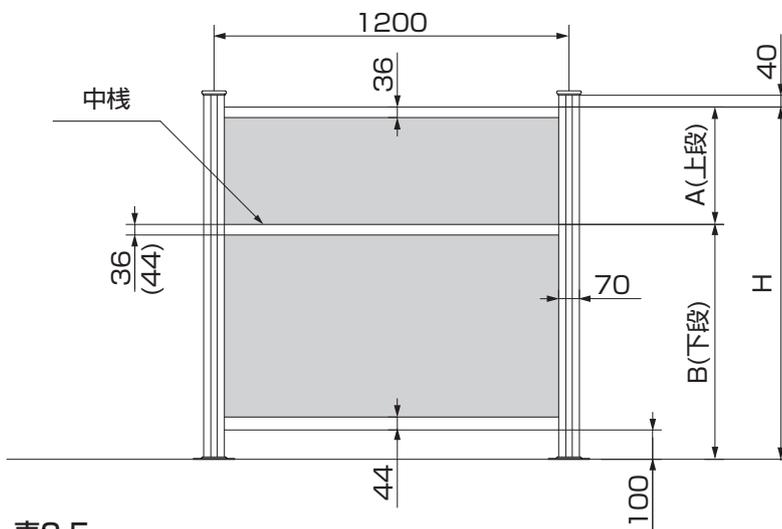


表2-4

呼称	H寸法
T-14	1400
T-18	1800

2-5 2段フェンス仕様



補足

● () 寸法は上段プライバシーシーの場合です。

表2-5

呼称		A寸法	B寸法	H寸法
T-12	(T04-08)	400(ビームパネル)	800	1200
	(T06-06)	400(プライバシーパネル)		
T-14	(T04-10)	600(プライバシーパネル)	1000	1400
	(T06-08)	400(ビームパネル)		
T-18	(T04-14)	600(プライバシーパネル)	1400	1800
	(T06-12)	400(ビームパネル)		
			400(プライバシーパネル)	

3. 柱の準備

3-1 主柱（ベース仕様）の場合

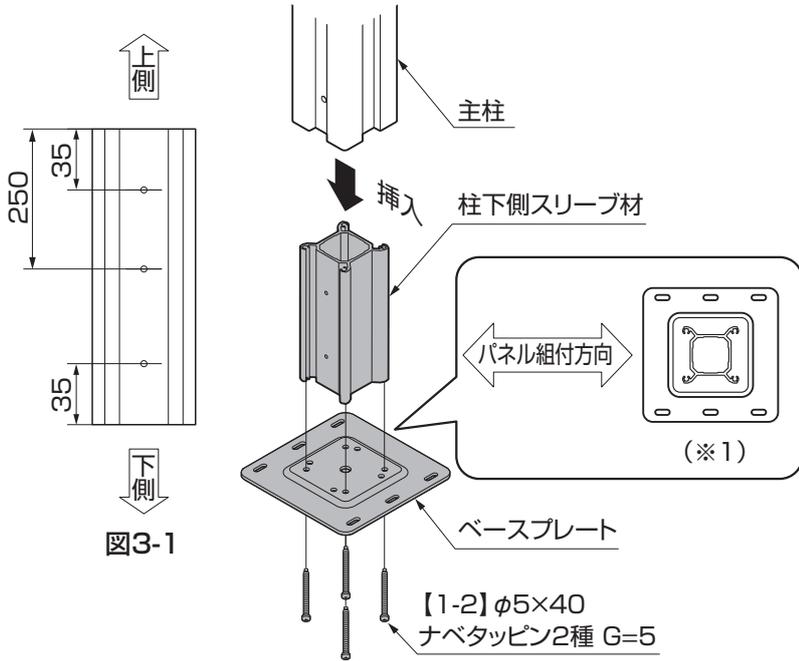


図3-1

図3-2

【1-1】φ4×20サラタッピン3種
(下孔加工済)

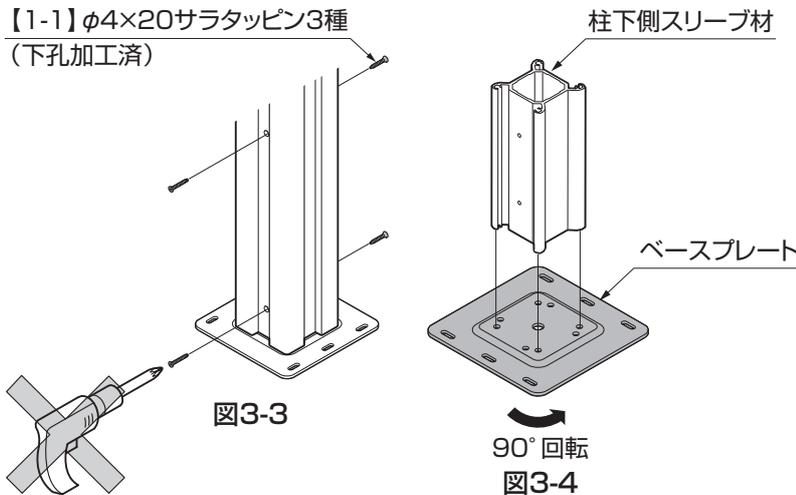
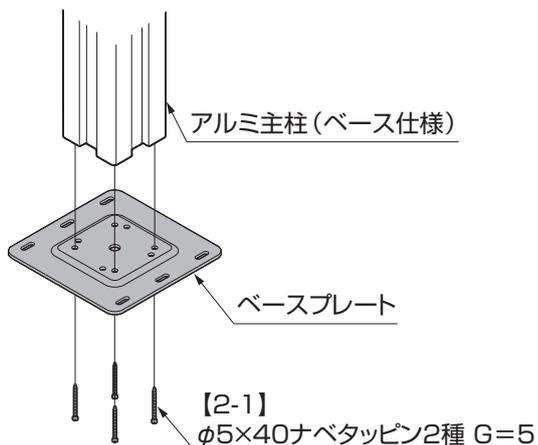


図3-3

図3-4

3-2 アルミ主柱（ベース仕様）の場合



補足

- 柱には上下の区別があります。柱下側スリーブ材がテープ止めされている側が下になります。
- T-12以上の柱スリーブには上下の区別があります。(図3-1参照)

- ①ベースプレートの裏側から柱下側スリーブ材を、【1-2】で4ヶ所ベースプレートの向きに注意して固定してください。(※1)
- ②主柱を、ベースプレートに組付けた柱下側スリーブ材へ挿入してください。(図3-2参照)
- ③主柱の孔位置から【1-1】で、主柱と柱下側スリーブ材を固定してください。(図3-3参照)

ポイント

- 主柱の取付には電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。
- デッキ側面に柱を組付ける場合、ベースプレートを90°回転して固定してください。(図3-4参照)

補足

- 柱には上下の区別があります。ベースプレートと合わせた時に、平行に取付けできる側が下になります。

- ①ベースプレートの裏側からアルミ主柱（ベース仕様）を【2-1】で、4ヶ所固定してください。

4. 柱の組付け

4-1 ベース柱

(1) 正面床板固定の場合

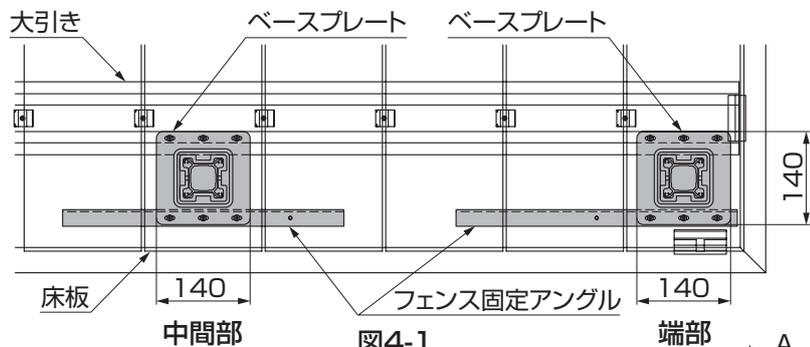
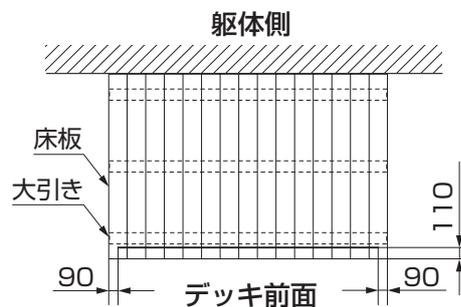


図4-1



柱設置可能範囲（柱芯寸法）

図4-2

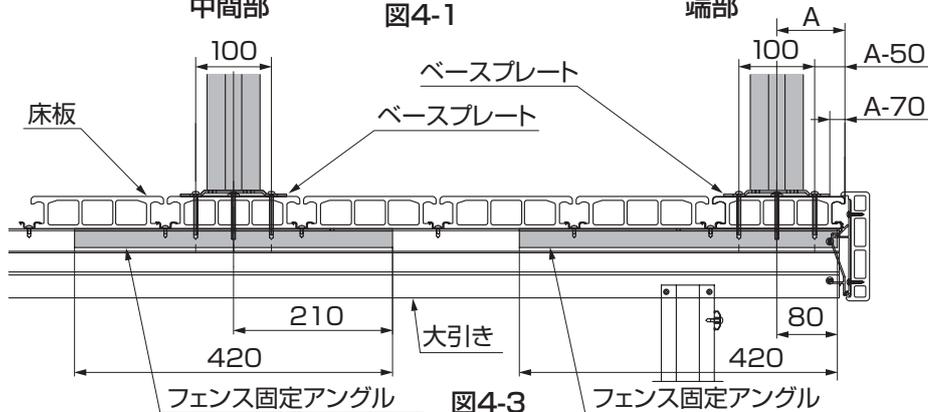


図4-3

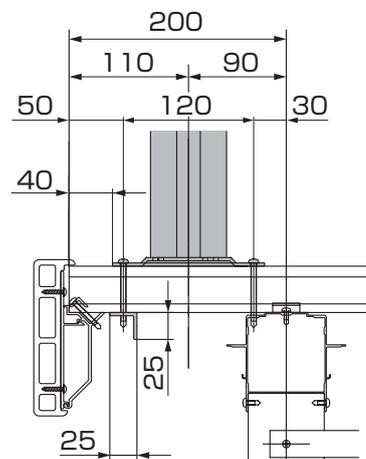


図4-4

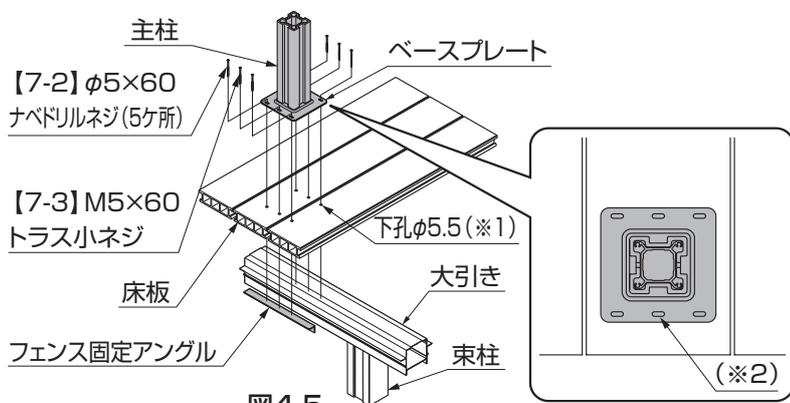
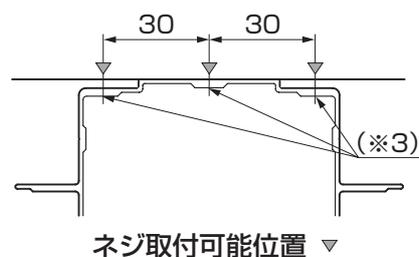


図4-5



ネジ取付可能位置

図4-6

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-1、図4-2、図4-3、図4-4を参照して取付けてください。
- 図4-3のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-3のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

注意

- 大引きにネジを取付ける際、図の位置3ヶ所(※3)以外に取付けしないでください。

④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。

⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【7-3】で取付けてください。(※2)

⑥【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。

4. つづき

(2) 正面大引き固定の場合

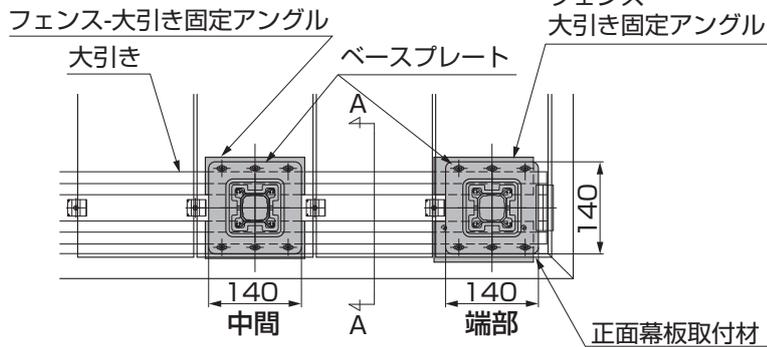


図4-7

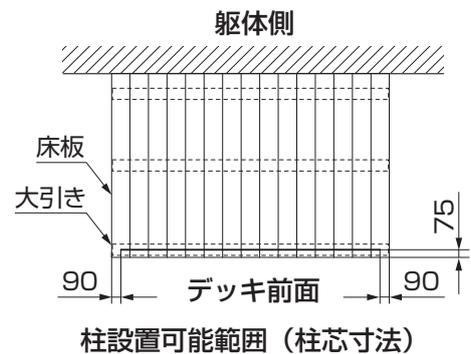


図4-8

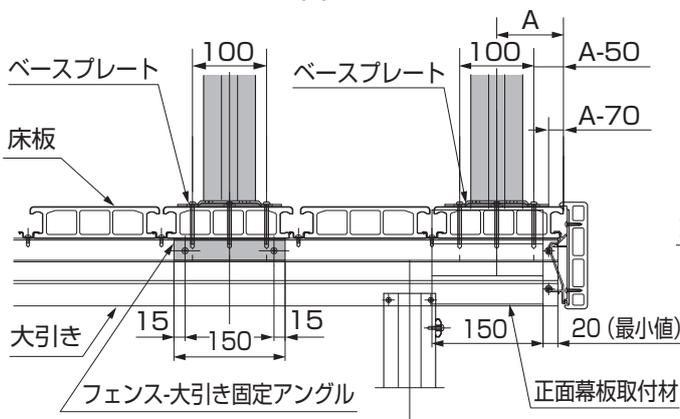


図4-9

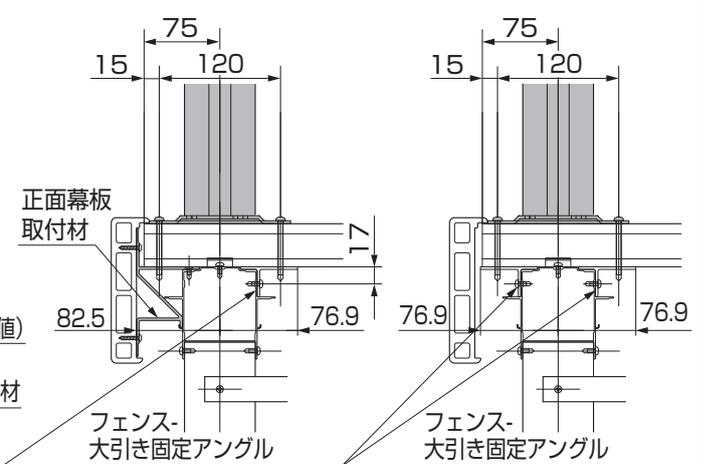


図4-10 A-A矢視図

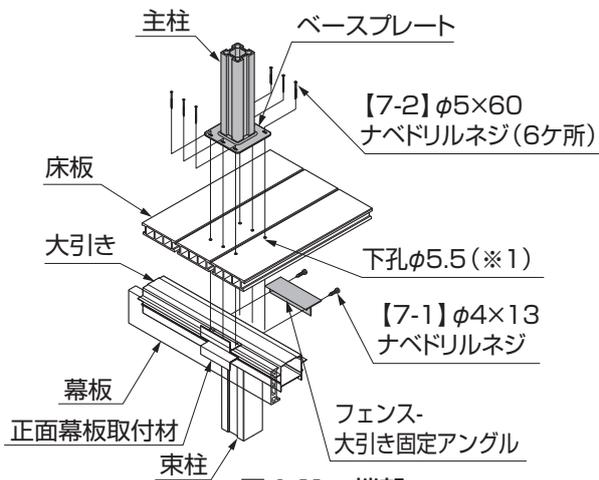


図4-11 端部

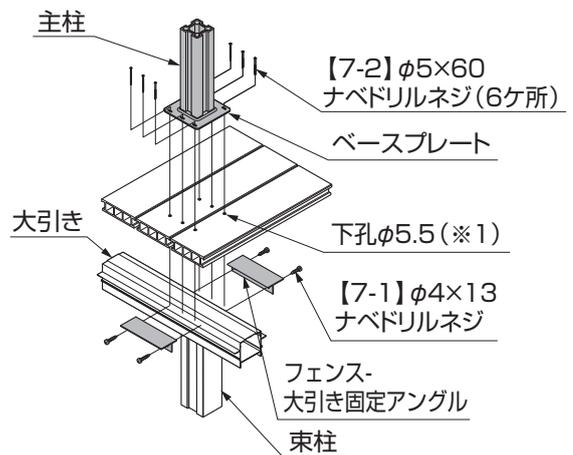


図4-12 中間

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には、図4-7、図4-8、図4-9、図4-10を参照して取付けてください。
- 図4-9のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-9のA寸法の最大値は、フェンス-大引き固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【7-1】で取付けてください。

⑤ベースプレートを【7-2】で、床板の下の幕板固定金具またはフェンス-大引き固定アングルまで取付けてください。

4. つづき

(3) 側面床板固定の場合

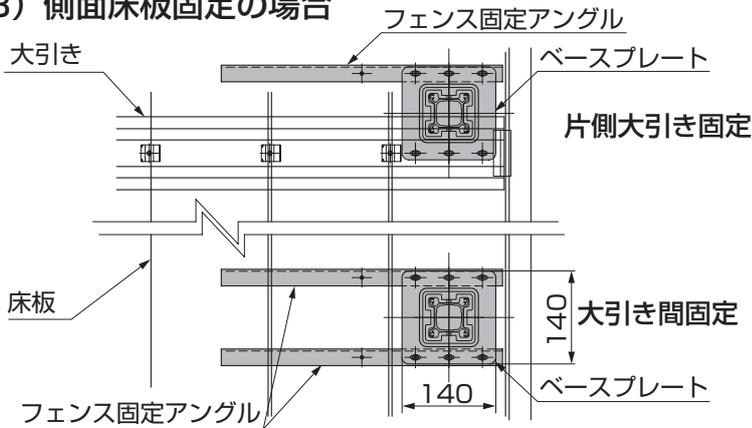


図4-13

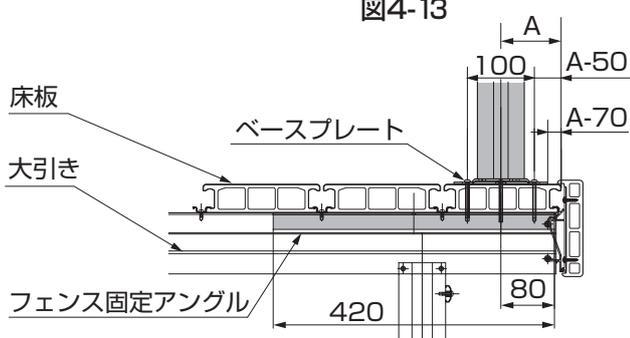


図4-15

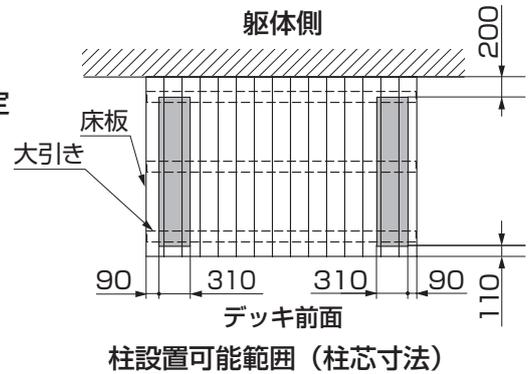


図4-14

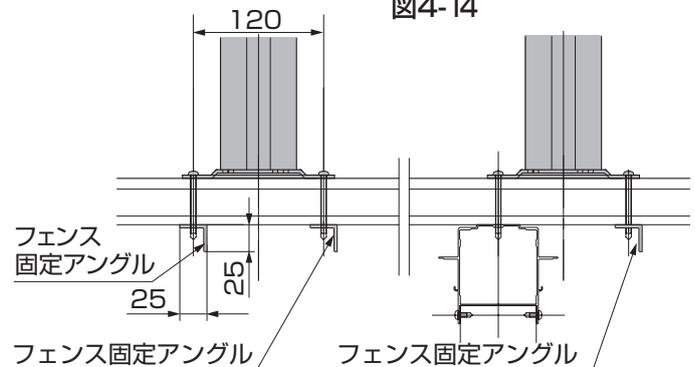


図4-16

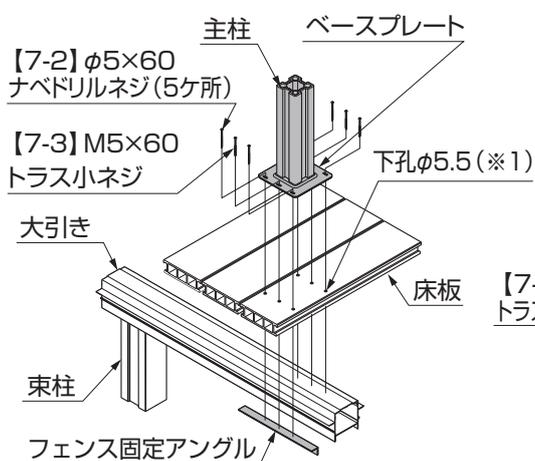


図4-17 片側大引き固定

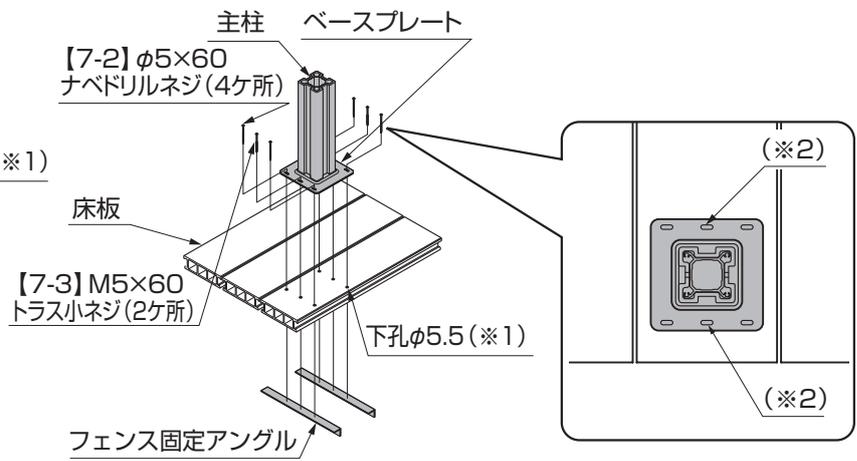


図4-18 大引き間固定

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- 片側を大引きに固定して立てる場合、大引き間に立てる場合には、図4-13、図4-14、図4-15、図4-16を参照して取付けてください。
- 図4-15のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-15のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④片側大引き固定の場合は、「4-1 ベース柱(1)正面床板固定の場合」の端部への取付けを参照してください。

⑤大引き間固定の場合、デッキの中心の下孔と、フェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【7-3】で2ヶ所取付けてください。(※2)

⑥ベースプレートを【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて4ヶ所取付けてください。

4. つづき

(4) 側面床板補強材固定の場合

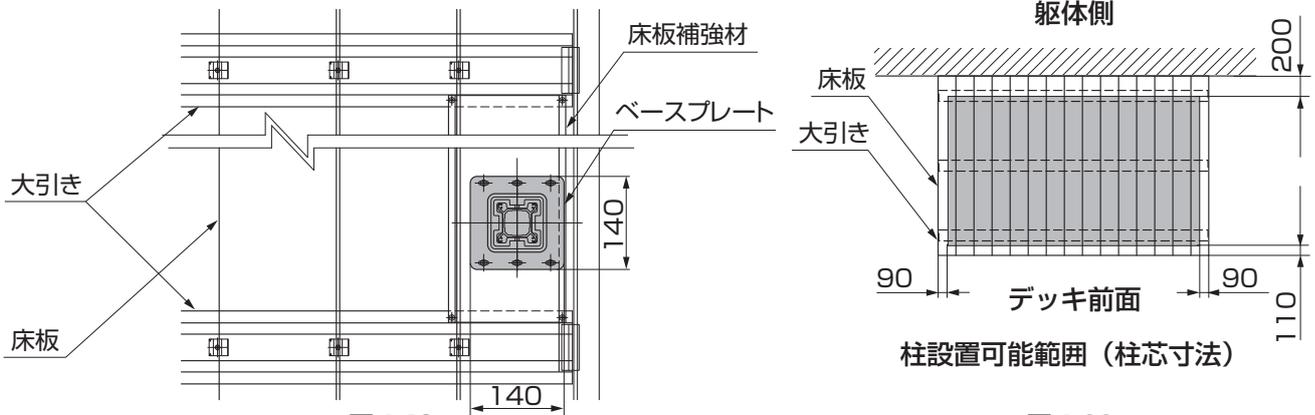


図4-19

図4-20

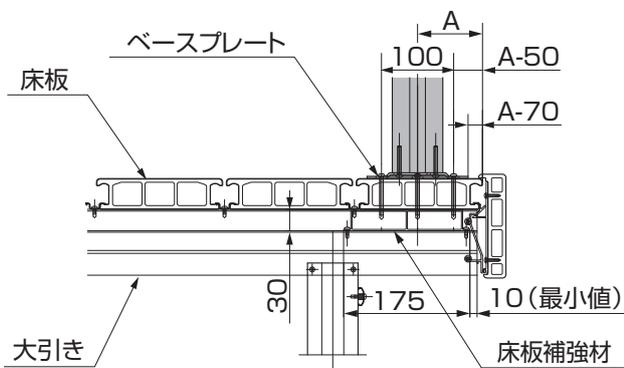


図4-21

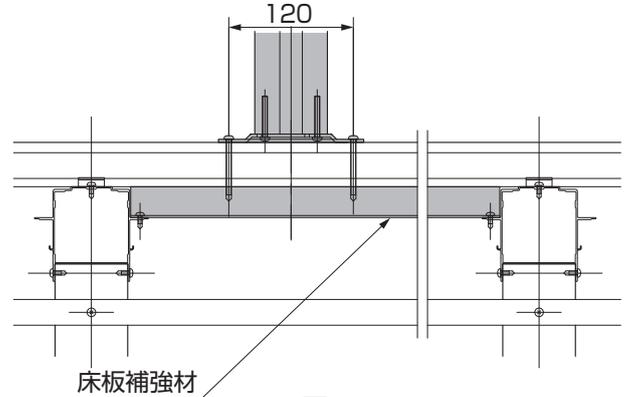


図4-22

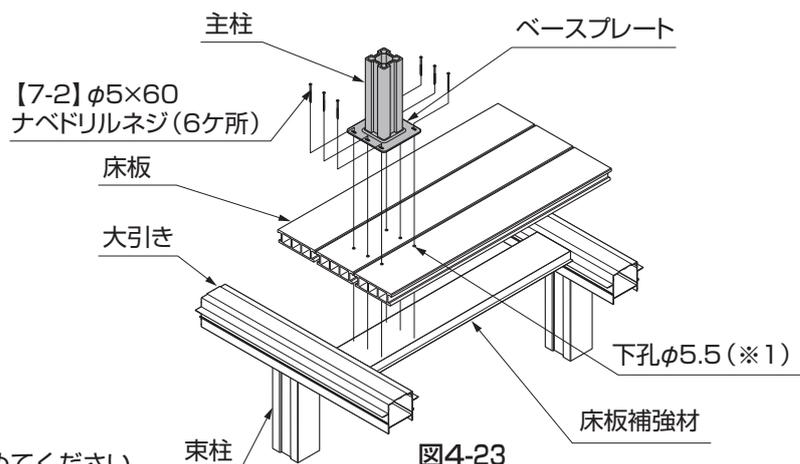


図4-23

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に補強材を取付けてください。
- デッキに図4-19、図4-20、図4-21、図4-22を参照して取付けてください。
- 図4-21のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-21のA寸法の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

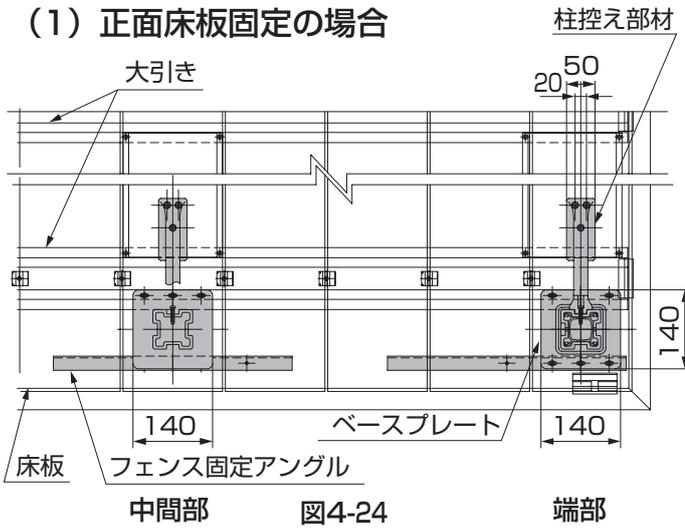
③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

4. つづき

4-2 T-14以上のベース柱

(1) 正面床板固定の場合



中間部 図4-24

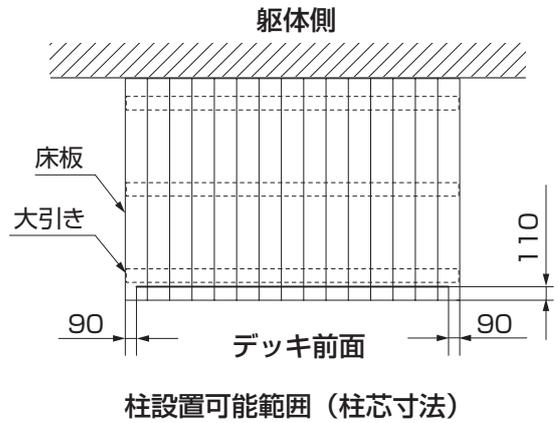


図4-25

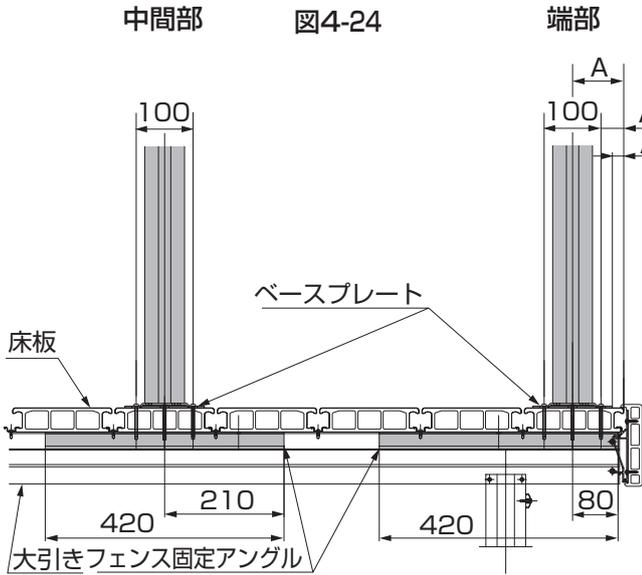


図4-26

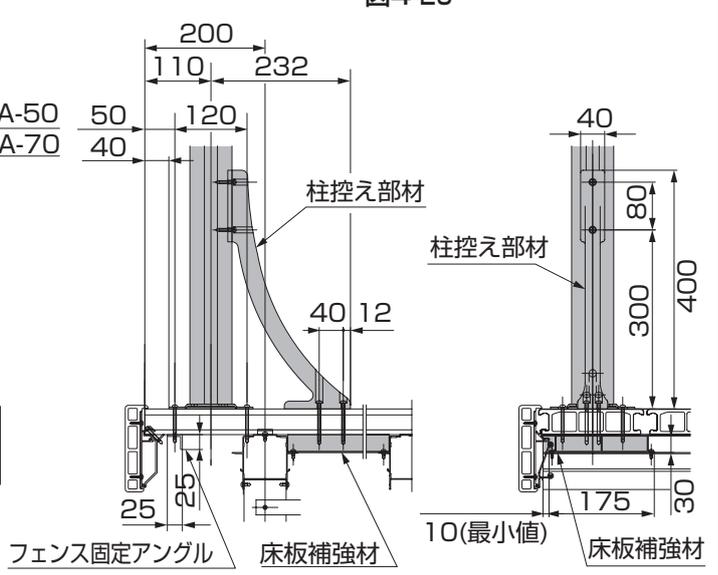


図4-27

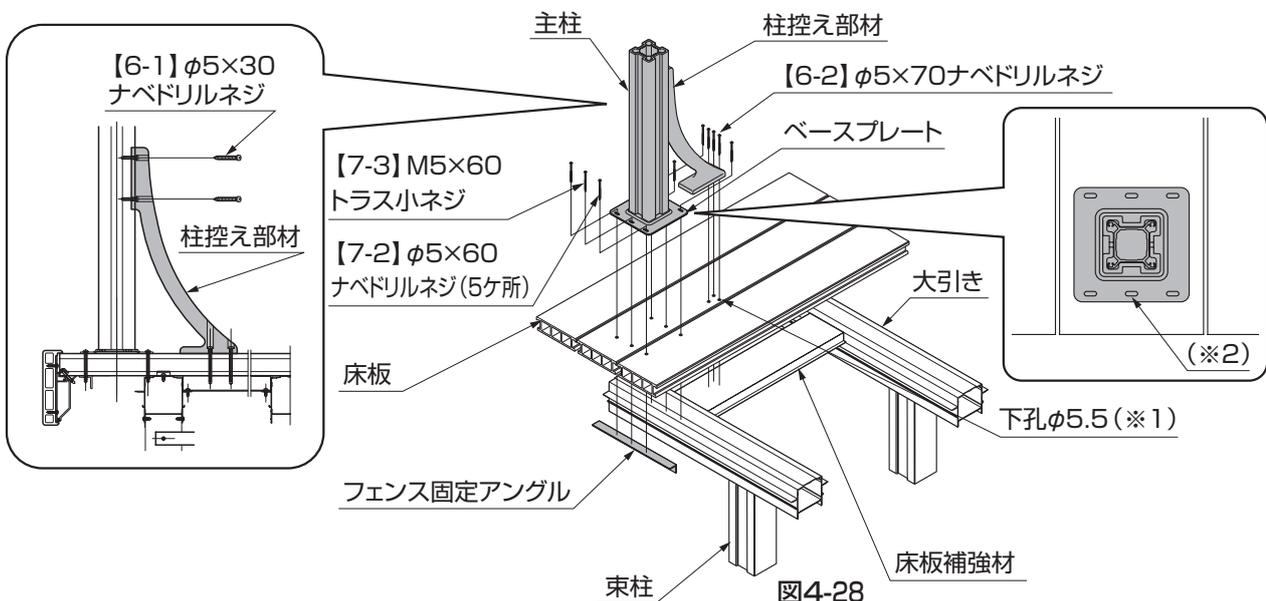


図4-28

4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図4-24、図4-25、図4-26、図4-27を参照して取付けてください。
- 図4-26のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-26のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱は必ず床板の下に床板補強材のある位置に取付けてください。

- ②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板にφ5.5の下孔をあけてください。(※1)
- ④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の大引きまで3ヶ所取付けてください。
- ⑤デッキ前面の中心の下孔とフェンス固定アングルの孔を合わせて、ベースプレートを【7-3】で取付けてください。(※2)
- ⑥【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルをあてて2ヶ所取付けてください。
- ⑦柱控え部材を【6-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。
- ⑧柱に柱控え部材を【6-1】で、固定してください。

(2) 正面大引き固定の場合

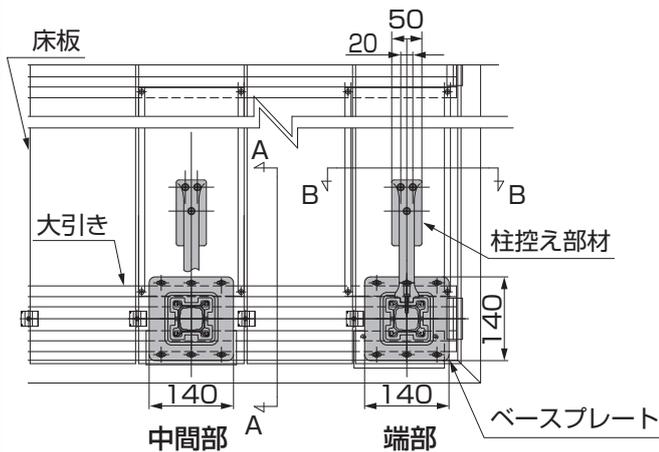


図4-29

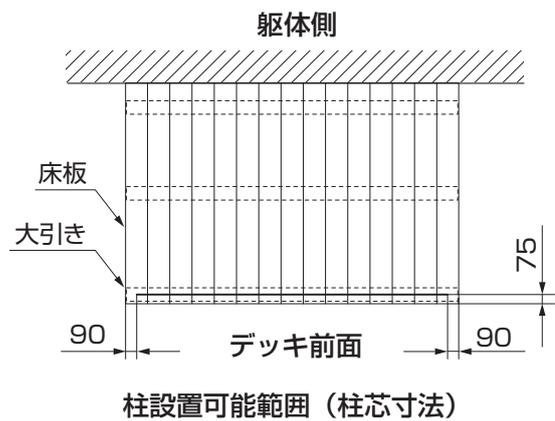


図4-30

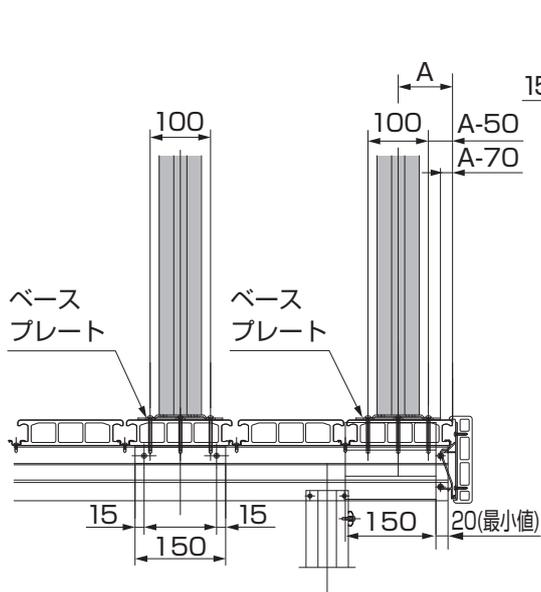
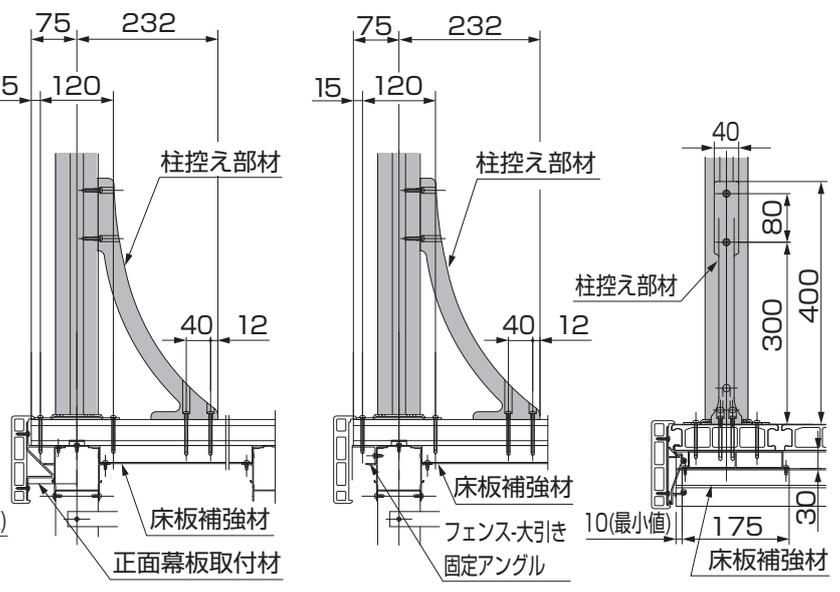


図4-31



A-A矢視図

図4-32

B-B矢視図

4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキの中間部に立てる場合、端部に立てる場合には図4-29、図4-30、図4-31、図4-32を参照して取付けてください。
- 図4-31のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-31のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱は必ず床板の下に床板補強材のある位置に取付けてください。

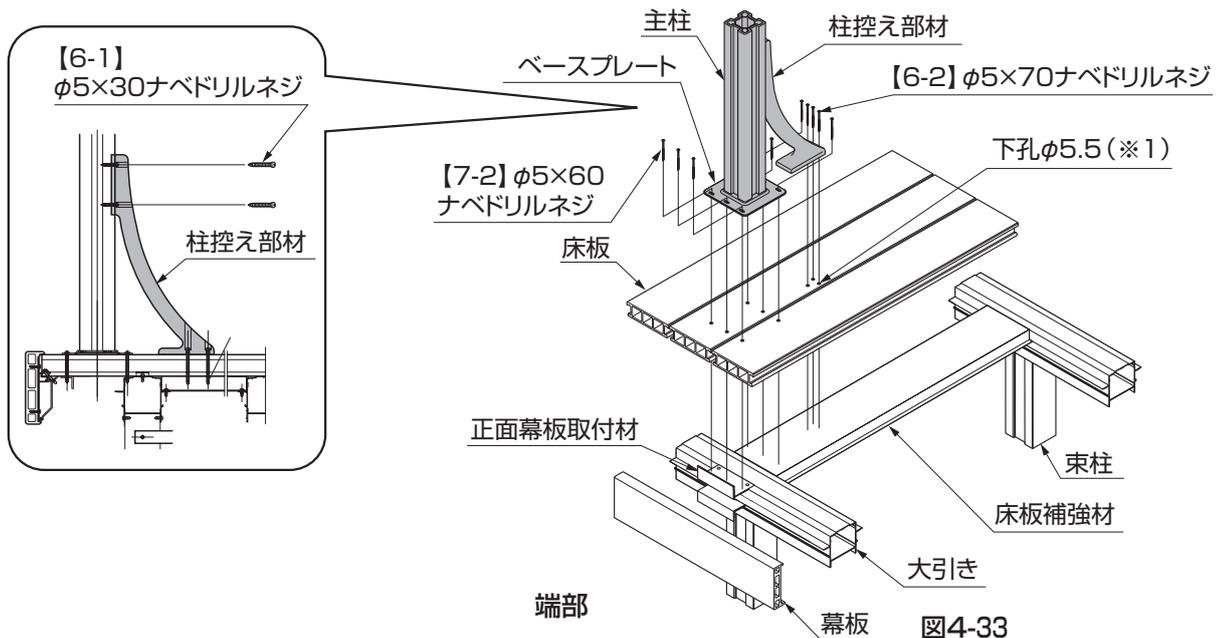


図4-33

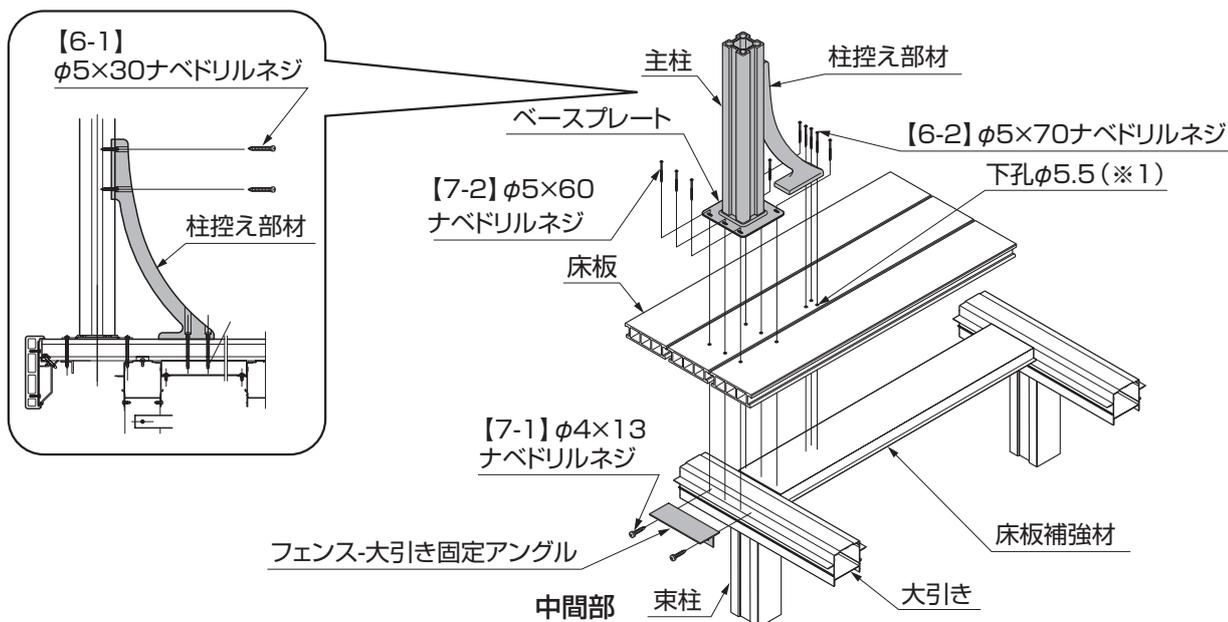


図4-34

- ②柱と柱控え部材を取付けるネジ位置をマーキングしてください。
- ③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)
- ④中間部の場合は、大引きにフェンス-大引き固定アングルを、【7-1】で取付けてください。
- ⑤ベースプレートを【7-2】で、床板の下の正面幕板取付材またはフェンス-大引き固定アングルに固定してください。
- ⑥柱控え部材を【6-2】で、床板の下の床板補強材に固定してください。
- ⑦柱に柱控え部材を、【6-1】で固定してください。

4. つづき

(3) 側面床板床板固定の場合

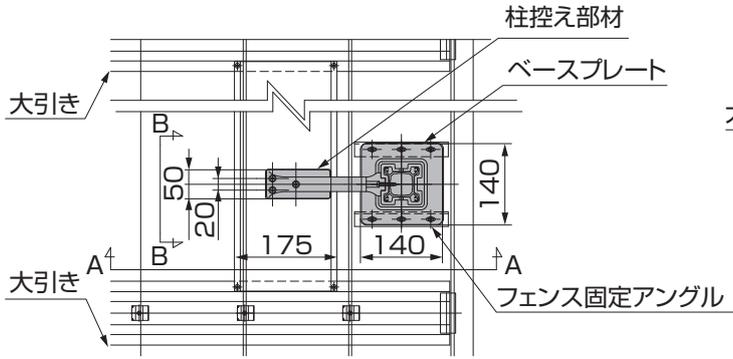
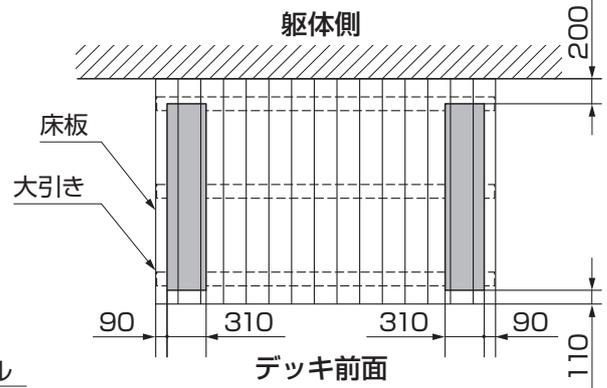


図4-35



柱設置可能範囲 (柱芯寸法)

図4-36

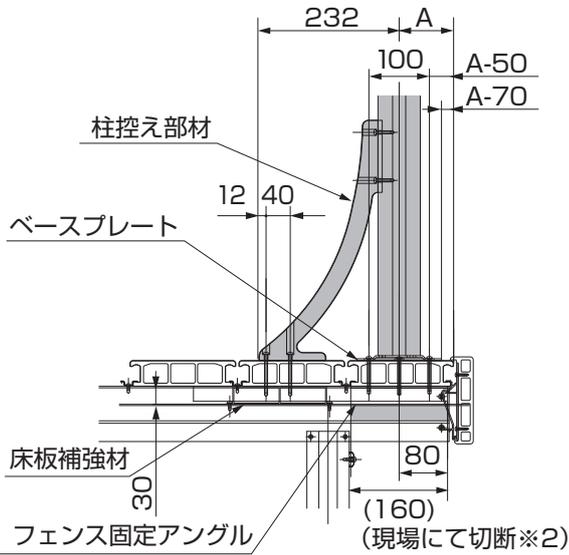
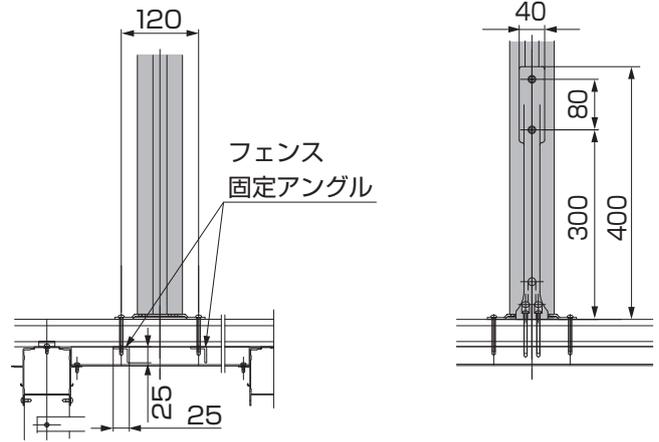


図4-37 A-A矢視図



B-B矢視図

図4-38

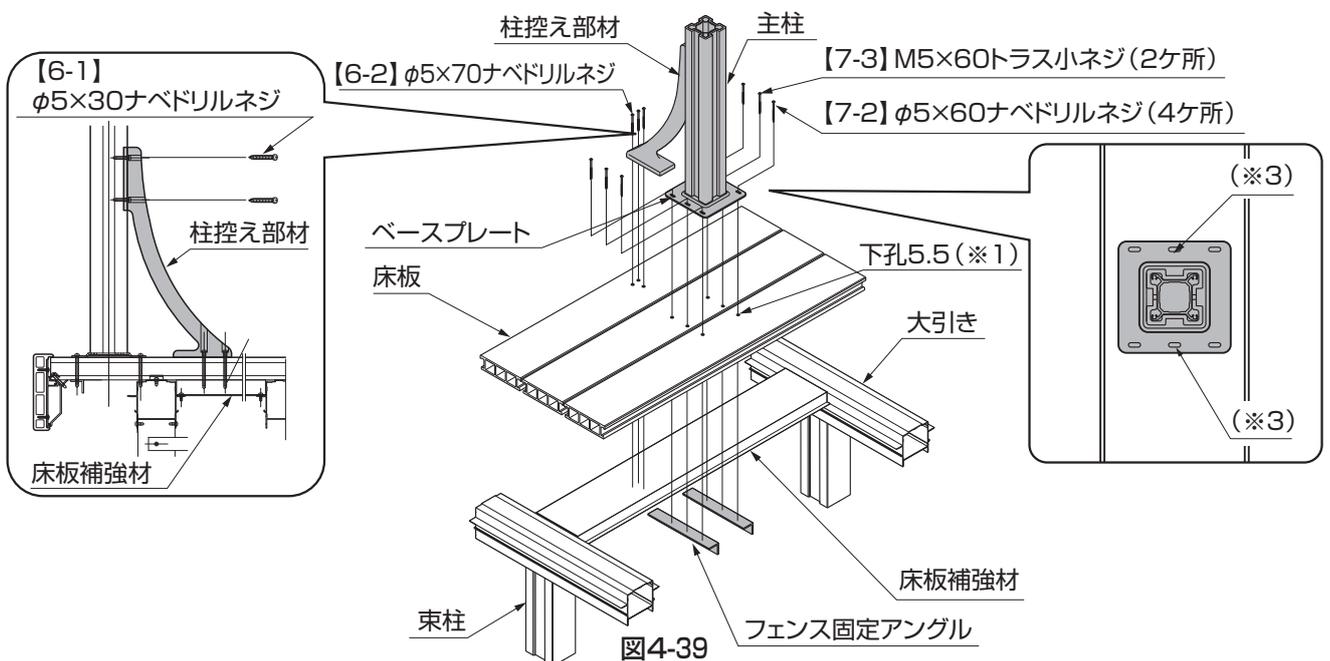


図4-39

4. つづき

①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキに図4-35、図4-36、図4-37、図4-38を参照して取付けてください。
- 図4-37のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-37のA寸法値の最大値は、フェンス固定アングルに手が届く約400mmの範囲内で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板にφ5.5の孔をあけてください。(※1)

④フェンス固定アングルの約160mm切断してください。(※2)

⑤デッキの中心の下孔とフェンス固定アングルの下孔を合わせてベースプレートを【7-3】で2ヶ所取付けてください。(※3)

⑥ベースプレートを【7-2】で、床板の下にフェンス固定アングルのあてて4ヶ所取付けてください。

⑦柱控え部材を【6-2】で、床板の下の床板補強材に取付けてください。

⑧柱に柱控え部材を【6-1】で、固定してください。

(4) 側面床板補強材固定の場合

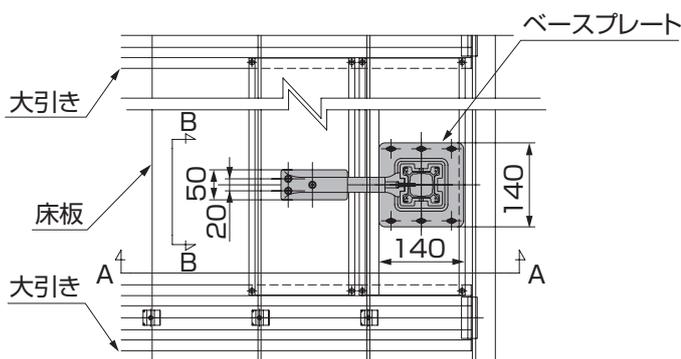


図4-40

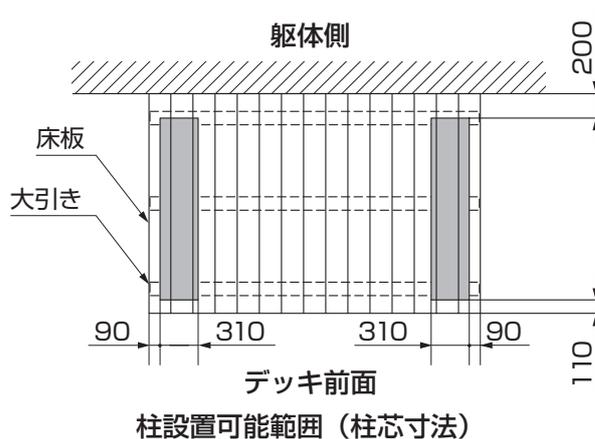


図4-41

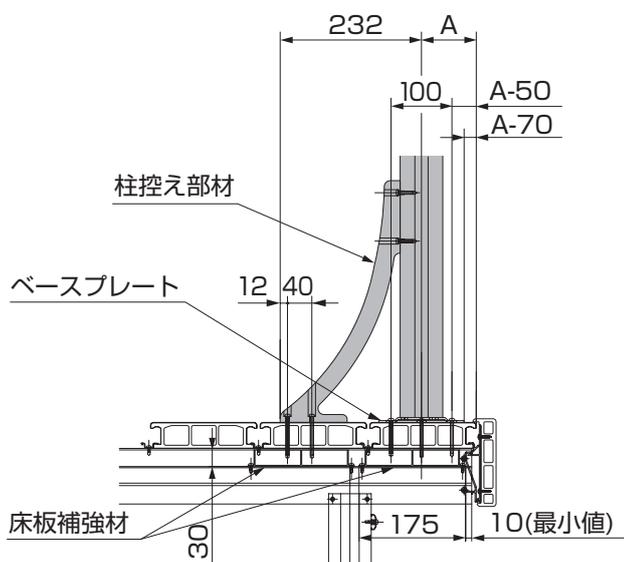
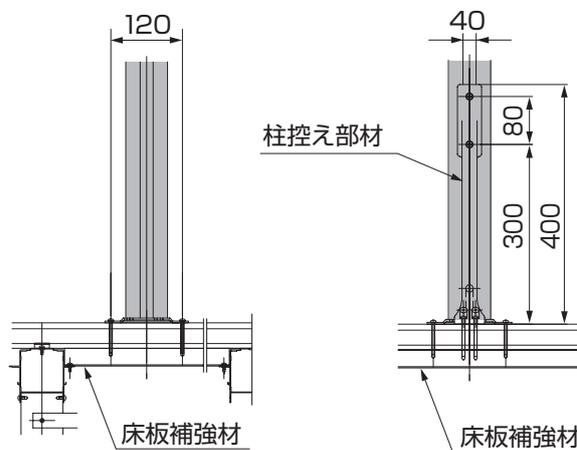
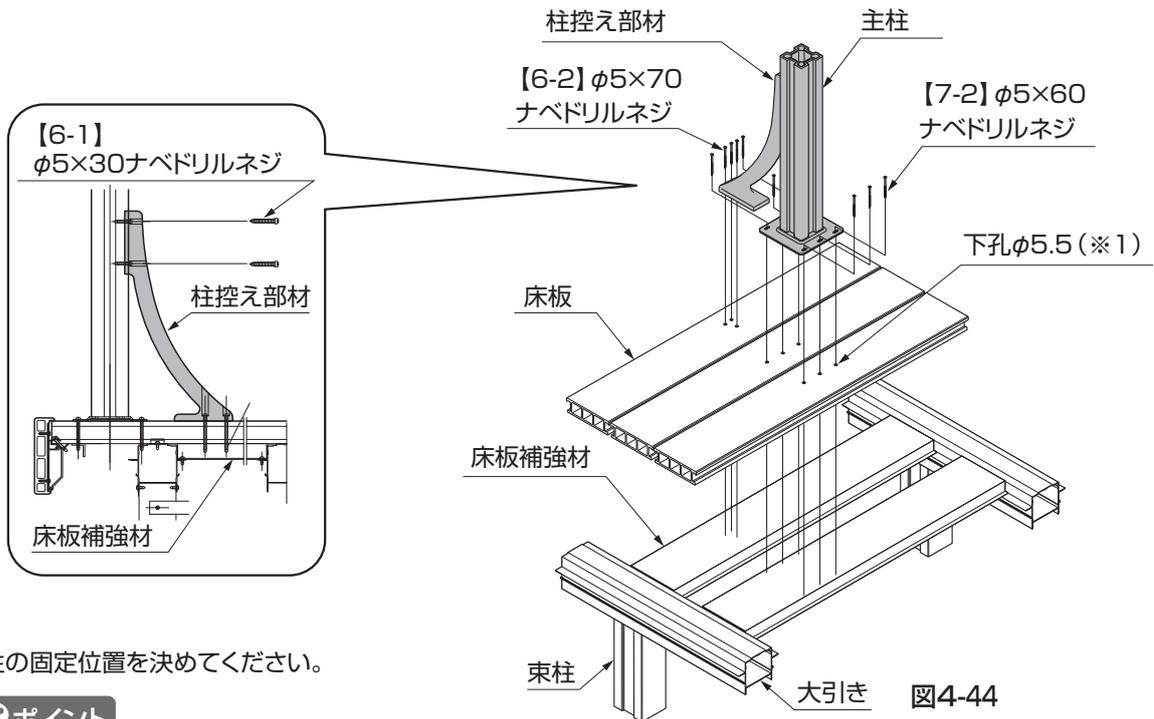


図4-42 A-A矢視図



B-B矢視図
図4-43

4. つづき



①柱の固定位置を決めてください。

ポイント

- デッキ施工前に床板補強材を取付けてください。
- デッキに図4-40、図4-41、図4-42、図4-43を参照して取付けてください。
- 図4-42のA寸法値の最小値は90mmです。
- 図4-42のA寸法値の最大値はフェンス固定アングルに手が届く範囲(約400mm)で自由に設定することができます。
- 柱を立てる床板の下に床板補強材があることを確認してください。

②ネジ位置をマーキングしてください。

③マーキングした床板に、φ5.5の下孔をあけてください。(※1)

④ベースプレートを【7-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

⑤柱控え部材を【6-2】で、床板の下の床板補強材まで取付けてください。

⑥柱に柱控え部材を【6-1】で、固定してください。

4-3 コーナー柱(ベース仕様)の場合

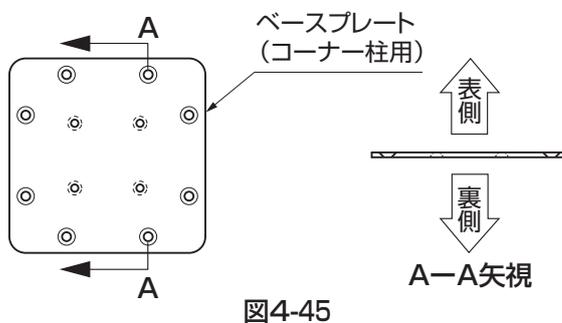


図4-45

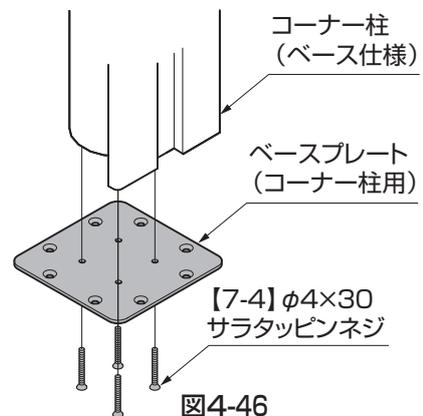


図4-46

ポイント

- 外側のサラ孔が上向きになっている面が表側です。(図4-45参照)
- コーナー柱にベースプレートカバーを取付ける場合は、コーナー柱の下部を5mm切断する必要があります。詳細は「ベースプレートカバー取付説明書<E289>」を参照してください。

①ベースプレート(コーナー柱用)の裏側から、コーナー柱(ベース仕様)を【7-4】で4ヶ所固定してください。(図4-46参照)

4. つづき

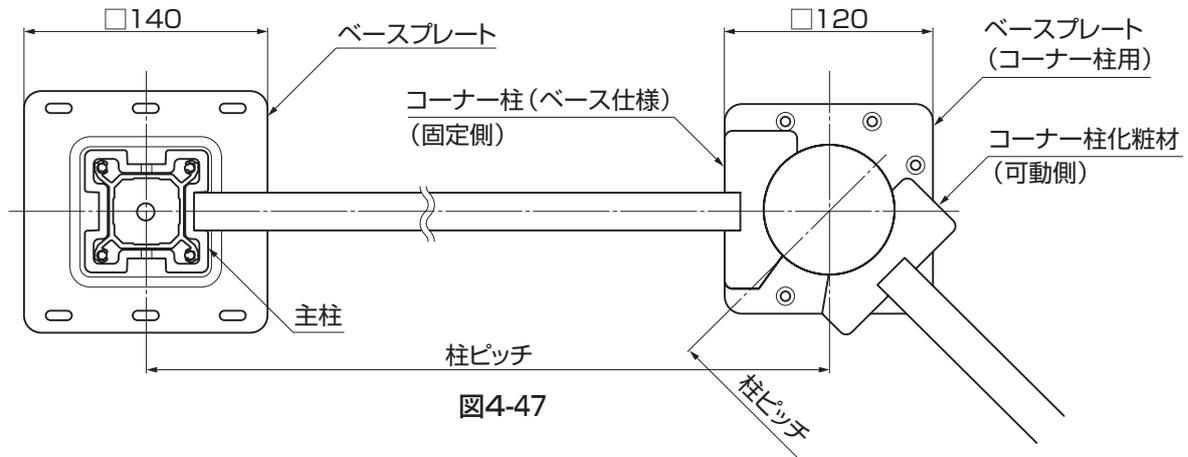


図4-47

②主柱のベースプレートと、コーナー柱のベースプレート(コーナー柱用)が芯一芯でならぶように配置し、柱の固定位置を決めてください。(図4-47参照)

補足

●コーナー柱を使用する場合は、柱ピッチが異なるので注意してください。「1.施工時の重要項目」を参照してください。

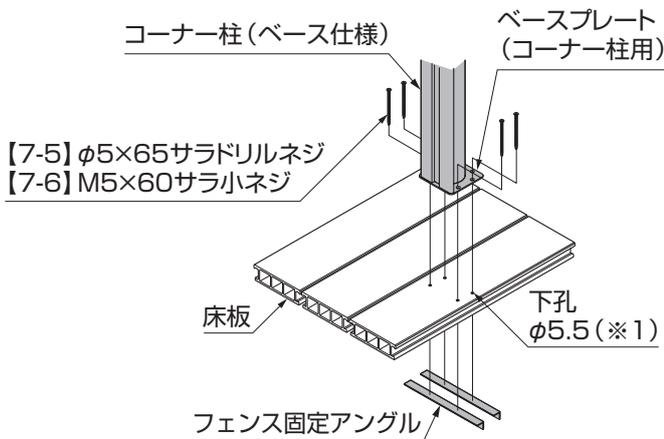


図4-48

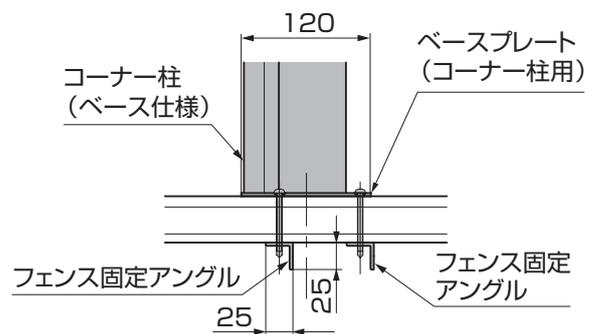


図4-49

ポイント

●ベースプレート(コーナー柱用)は【7-5】、【7-6】で合計4ヶ所以上固定してください。

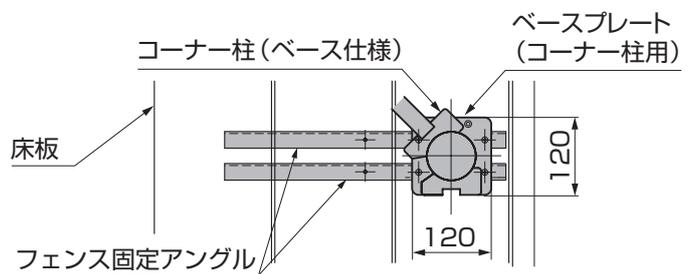


図4-50

③ネジ位置をマーキングしてください。

④マーキングした床板にφ5.5下孔をあけてください。(※1)

⑤フェンス固定アングルの位置を合わせて【7-5】、【7-6】でベースプレートを固定してください。

補足

- 柱一柱間のピッチは、下棧を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー角の対応角は180°～90°です。
- フェンス固定アングルの位置は納まりにより異なります。

5. 下棧受け部品の組付け

※下棧の組付位置は、所定の高さから変更できません。
 ※横ビームパネルには使用しない作業です。

5-1 主柱・コーナー柱

(1) ベース仕様の場合

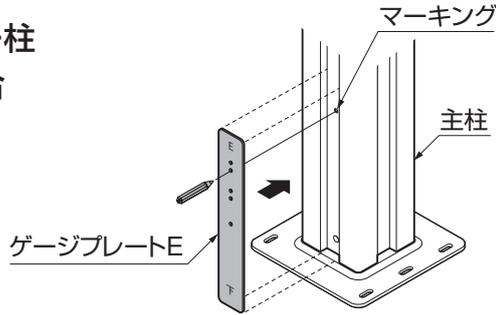
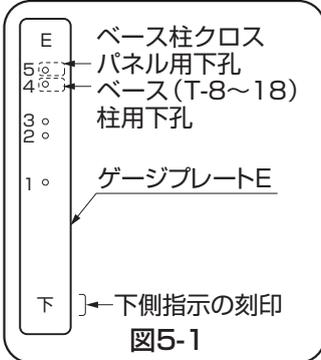


図5-2

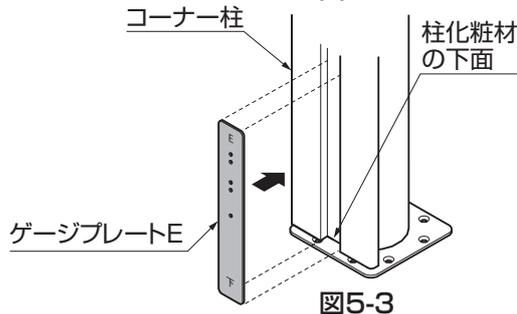


図5-3

ポイント

●ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-1参照)

①主柱はパネルを入れる面の柱底面に、ゲージプレート下面を合わせ、印をつけてください。(図5-2参照)

②コーナー柱は柱化粧材の下面にゲージプレート下面を合わせてください。(図5-3参照)

ポイント

●クロスパネルは5の孔を使用してください。それ以外のパネルは4の孔を使用してください。(図5-1参照)

【8-1】φ4×30
ナベドリルネジ

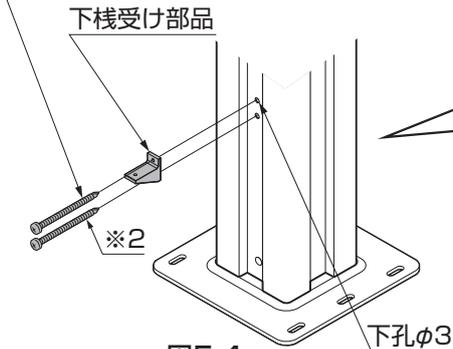
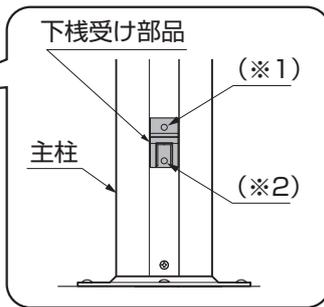


図5-4



③印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。

④下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、【8-1】で下棧受け部品を固定してください。

⑤下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけて【8-1】で固定してください。(※2)

(2) 埋込仕様の場合 (T-8~12) 主柱・コーナー柱共通

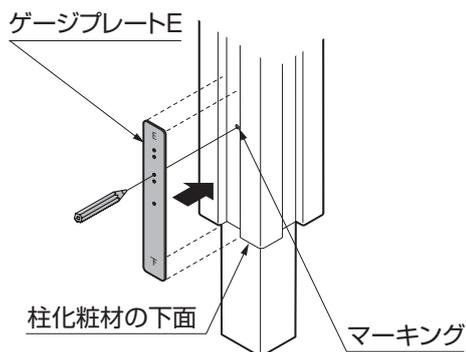


図5-6

ポイント

●ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-5参照)

①パネルを入れる面の柱底面に、ゲージプレート下面を合わせ、印をつけてください。(図5-6参照)

ポイント

●クロスパネルは3の孔を使用してください。それ以外のパネルは2の孔を使用してください。(図5-5参照)

②印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。

③下棧受け部品の上部の孔(※1)と、支柱溝部にあけた孔を合わせて、【8-1】で下棧受け部品を固定してください。

④下部の孔も同様に、φ3の下孔をあけて【8-1】で固定してください。(※2)

【8-1】φ4×30ナベドリルネジ

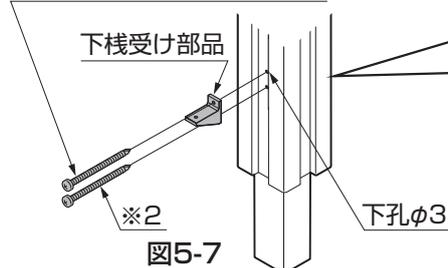
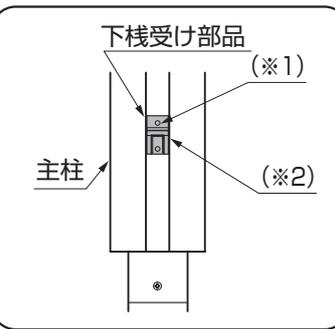
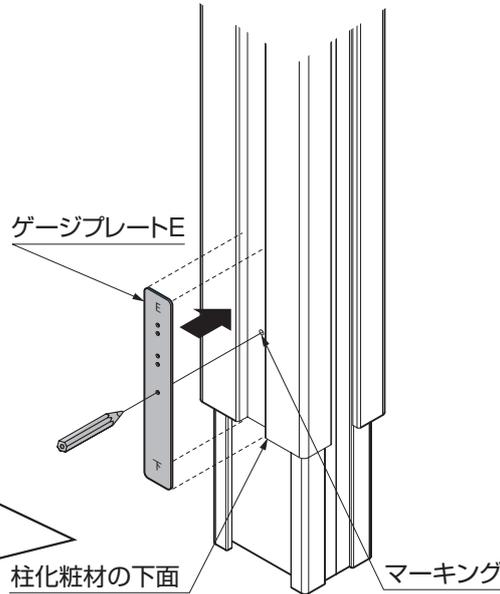
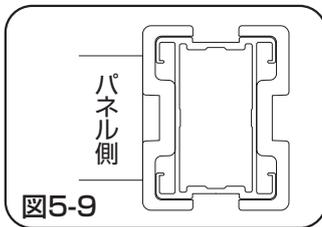
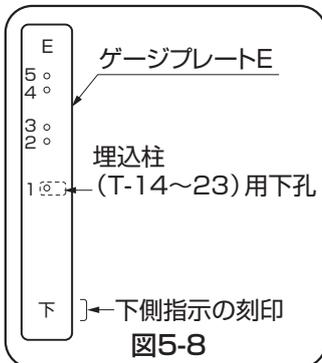


図5-7



5. つづき

(3) 埋込仕様の場合 (T-14~23)



ポイント

- ゲージプレートには上下があります。「下」と刻印している側を下に合わせてください。(図5-8参照)

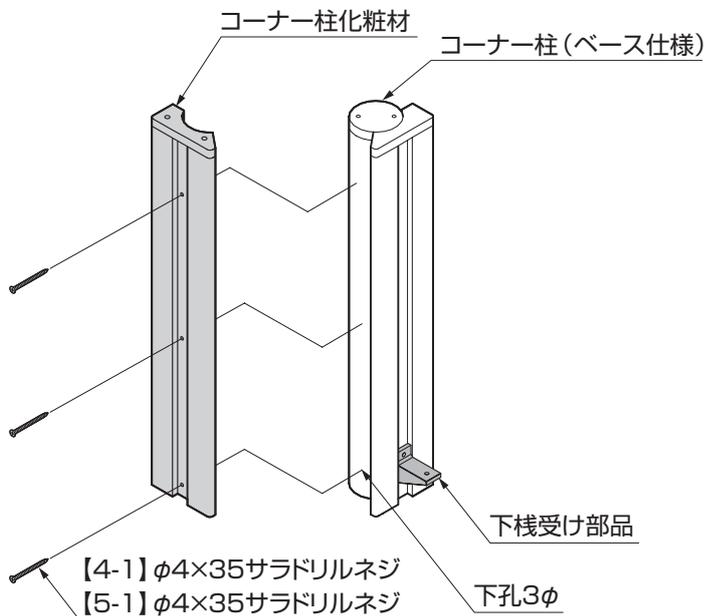
①パネルを入れる側の面の柱の底面にゲージプレートの下面を合わせ、印をつけてください。(図5-10参照)

②下棧受け部品の取付け方は「5-1 支柱・コーナー柱 (2) 埋込仕様の場合」を参照してください。

ポイント

- パネルを取付ける側を柱の長辺にしてください。(図5-9参照)

5-2 コーナー柱の場合 ※図はコーナー柱(ベース仕様)です。



①コーナー柱化粧材を任意の角度に合わせ、コーナー柱にφ3の下孔をあけて、【4-1】、【5-1】で固定してください。

補足

- 柱一柱間のピッチは下棧を仮置きするなどの方法で、正しく計測してください。
- コーナー各の対応角は180°~90°です。

②コーナー柱化粧材を組付けた後、下棧受け部品を組付けてください。

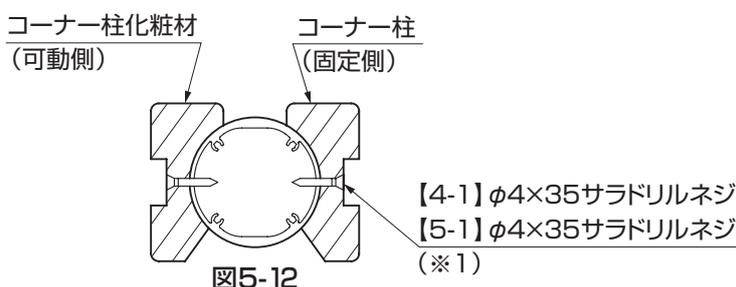
③コーナー柱(ベース仕様)の下棧受け部品の取付け方は「5-1 支柱・コーナー柱 (1) ベース仕様の場合」を参照してください。コーナー柱(埋込仕様)の下棧受け部品の取付け方は「5-1 支柱・コーナー柱 (2) 埋込仕様の場合」を参照してください。

ポイント

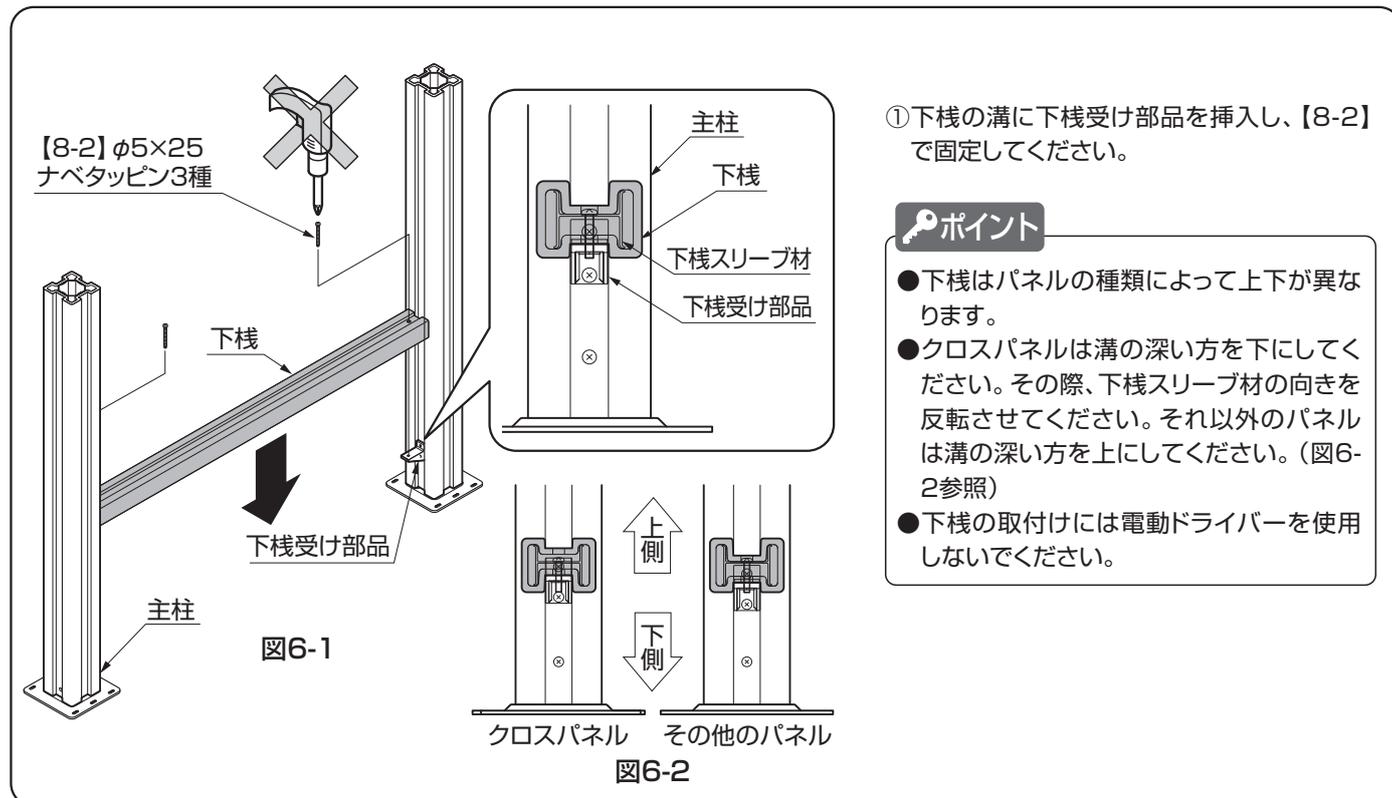
- ネジを締めすぎでコーナー柱化粧材を突き抜かないように注意してください。(※1)

補足

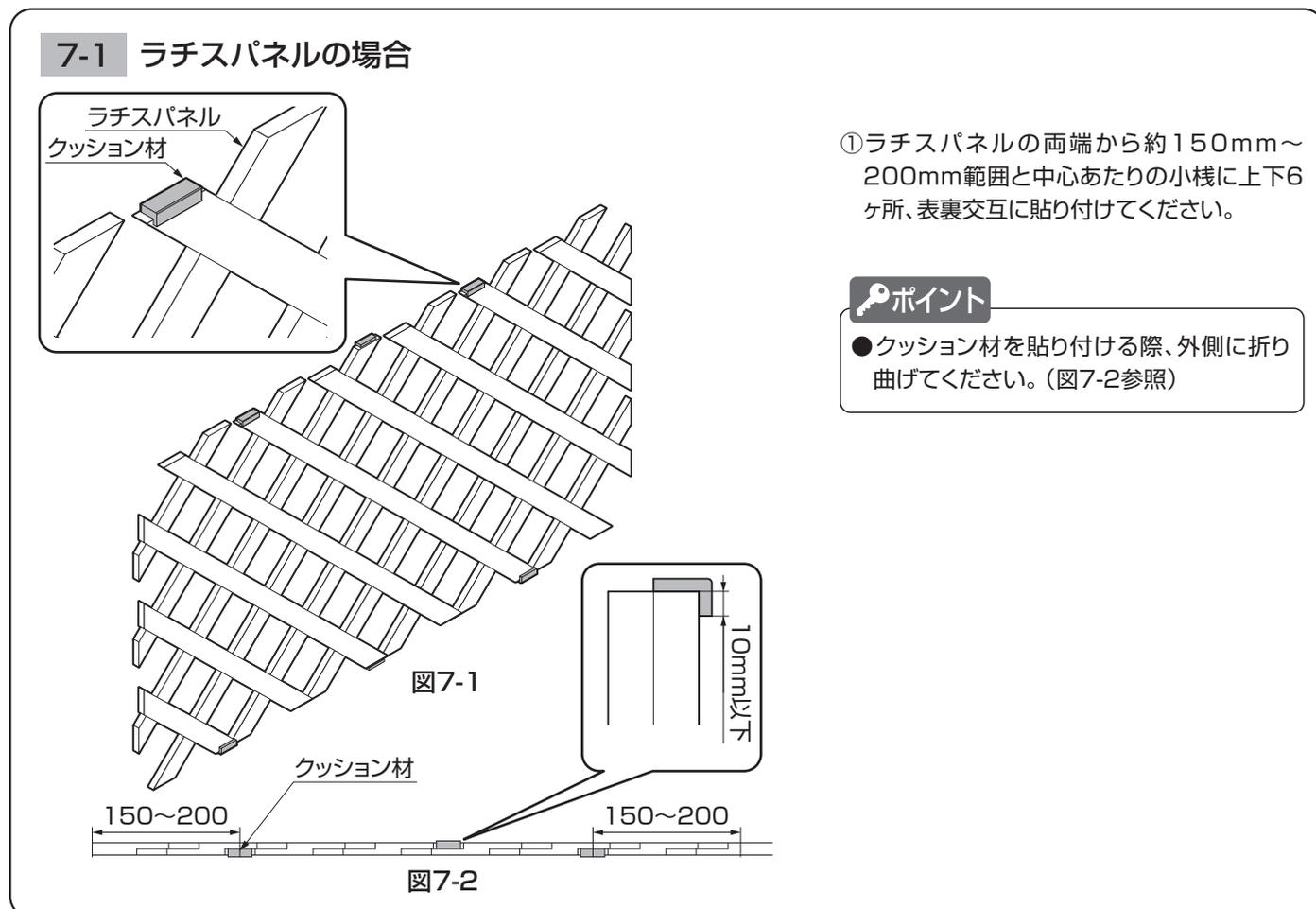
- コーナー柱を使用する場合、柱ピッチが異なるので注意してください。「1. 施工時の重要注意事項」を参照してください。



6. 下棧の取付け ※横ビームパネルには使用しない作業です。

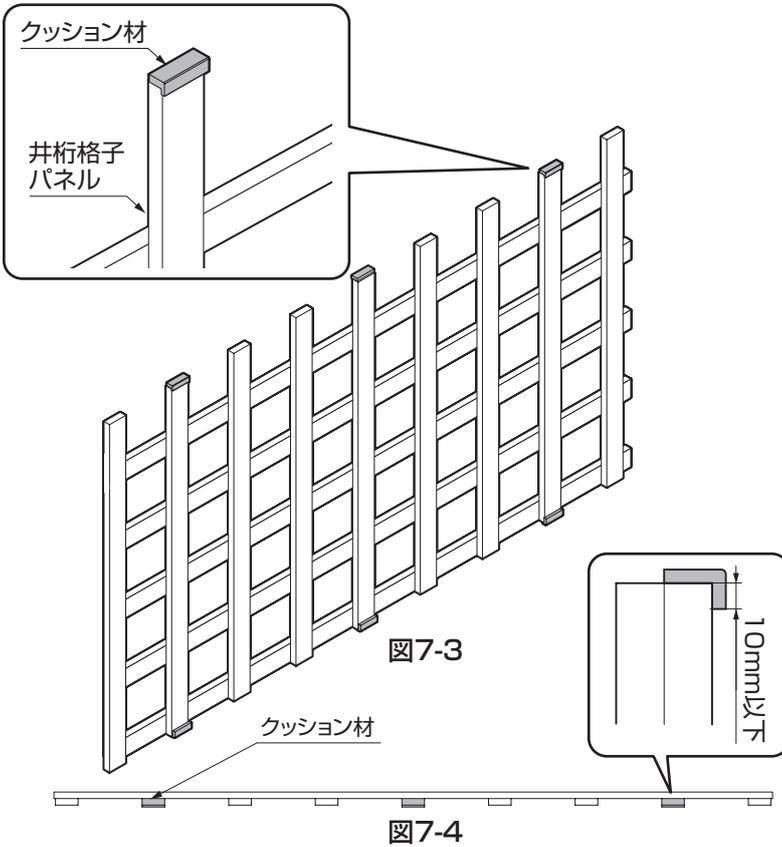


7. クッション材の取付け ※ラチスパネルと井桁格子の場合の作業です。



7. つづき

7-2 井桁格子パネルの場合

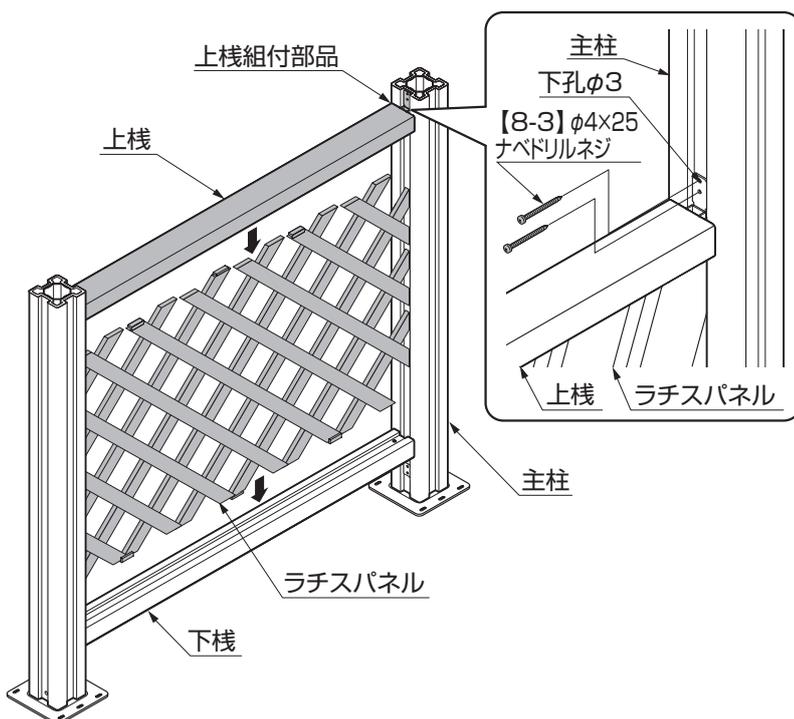


- ①井桁格子パネルの両端から2つめと中心に、上下6ヶ所の縦小棧に貼り付けてください。

ポイント

- クッション材を貼り付ける際、外側に折り曲げて下さい。(図7-4参照)

8. ラチスパネルおよび上棧の組付け



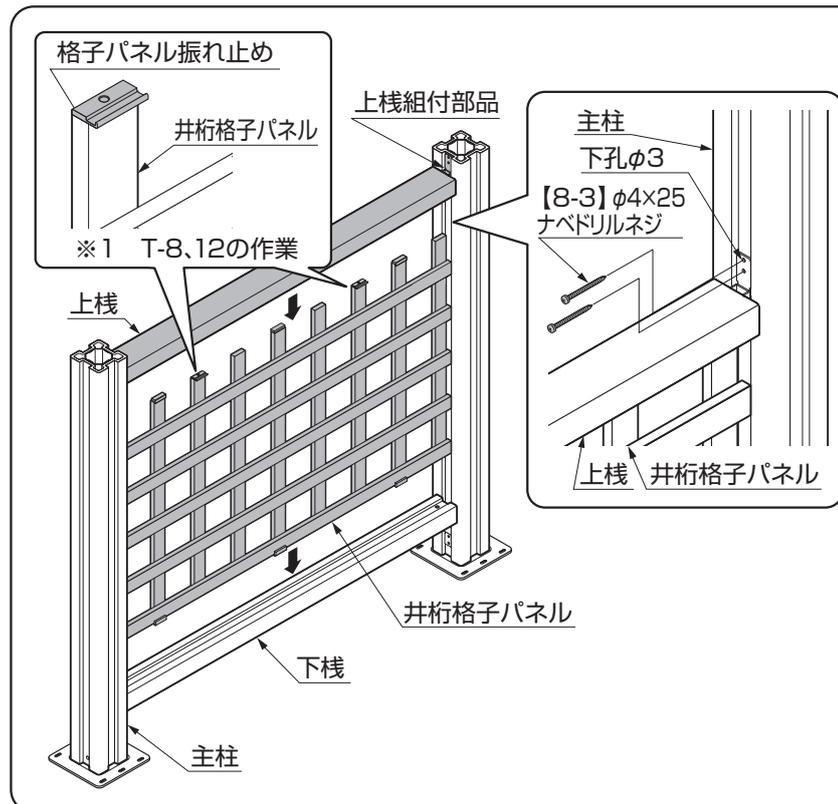
- ①主柱と下棧の溝に、ラチスパネルを挿入した後、上棧の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。

- ②柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそってφ3の下孔をあけ、【8-3】で固定してください。

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

9. 井桁格子パネルおよび上棧の組付け



- ①主柱と下棧の溝に、井桁格子パネルを挿入してください。
- ②T-8、T-12の場合、井桁格子パネルの両端から3番目の縦小棧の位置に、格子パネル振れ止めを固定してください。(※1)
- ③上棧の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。
- ④柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそって、φ3の下孔をあけ、【8-3】で固定してください。

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

10. ラチス棧固定金具の組付け ※18パネルのみに必要な内容です。

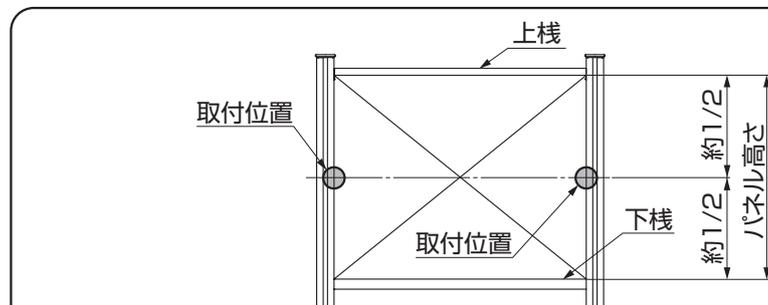


図10-1

10-1 ラチスパネル標準納まり

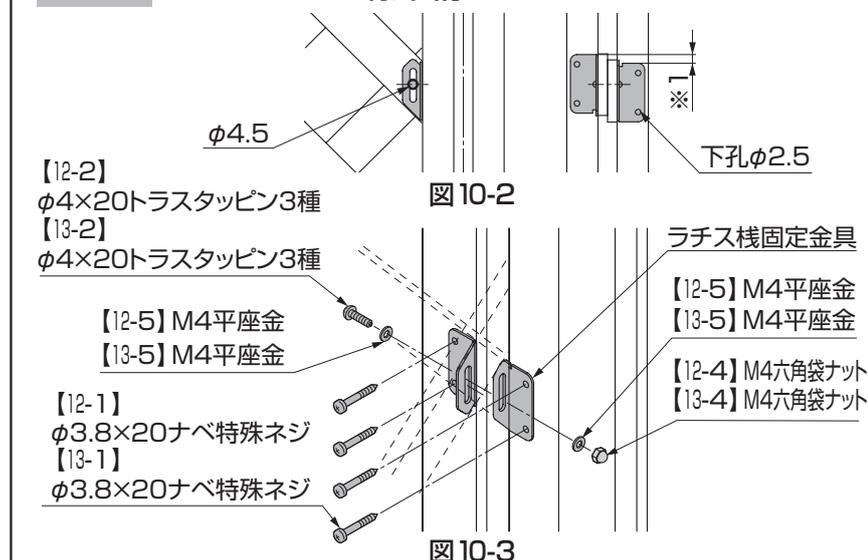


図10-3

ポイント

- パネル幅の切詰めの有無でラチス棧固定金具の取付位置が異なります。
- 取付位置はパネル高さの中央に最も近い交点に取付けます。

- ①ラチス棧固定金具をラチスパネル棧に位置を合わせて、主柱にφ2.5の取付用下孔をあけてください。
- ②ラチス棧固定金具を主柱に、【12-1】または【13-1】で固定してください。
- ③ラチス棧固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ④ラチス棧固定金具とパネル棧を、【12-2】、【13-2】、【12-5】、【13-5】、【12-4】、【13-4】を使って固定してください。

補足

- ラチスパネル棧を固定する位置により、使用するネジ長(【12-2】、【13-2】あるいは【12-3】、【13-3】)が異なります。
- ラチス棧固定金具の高さは一致しません。(※1)

10. つづき

10-2 井桁格子パネル標準および幅切詰め時納まり

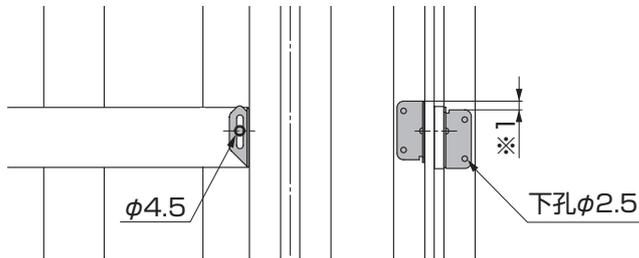


図10-4

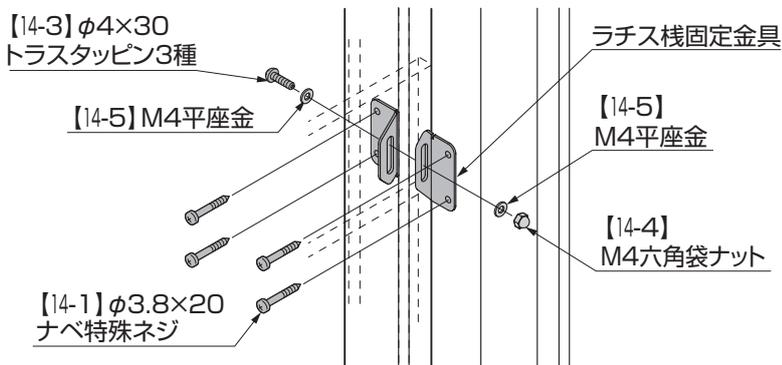


図10-5

- ① ラチス枠固定金具を井桁格子パネル枠に位置を合わせて、柱にφ2.5の取付用下孔をあけてください。
- ② ラチス枠固定金具を主柱に、【14-1】で固定してください。
- ③ ラチス枠固定金具の長孔部よりパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ④ ラチス枠固定金具とパネル枠を、【14-2】、【14-3】、【14-4】、【14-5】を使って固定してください。

補足

- 井桁格子パネル枠を固定する位置により、使用するネジ長（【14-2】あるいは【14-3】）が異なります。
- ラチス枠固定金具の高さは一致しません。（※1）
- パネル幅切詰め時も同様の手順で組付けてください。

10-3 ラチスパネル幅切詰め時納まり

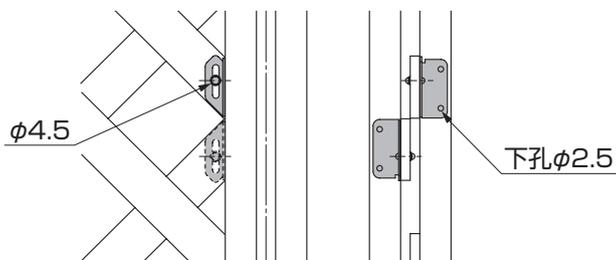


図10-6

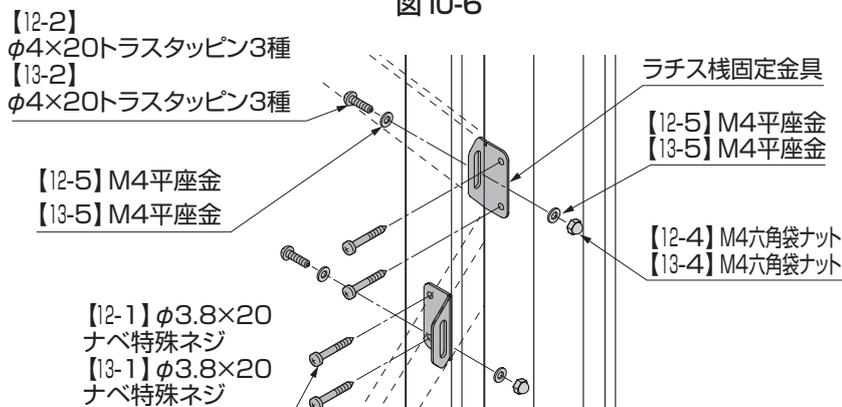


図10-7

- ① ラチス枠固定金具をラチスパネル枠に位置を合わせて、主柱にφ2.5の取付用下孔をあけてください。
- ② ラチス枠固定金具を主柱に、【12-1】または【13-1】で固定してください。
- ③ ラチス枠固定金具の長孔部よりラチスパネル交点に、φ4.5の貫通孔をあけてください。
- ④ ラチス枠固定金具とパネル枠を、【12-2】、【13-2】、【12-5】、【13-5】、【12-4】、【13-4】を使って固定してください。

補足

- ラチスパネル枠を固定する位置により、使用するネジ長（【12-2】、【13-2】あるいは、【12-3】、【13-3】）が異なります。

11. 横ビームパネルの組付け

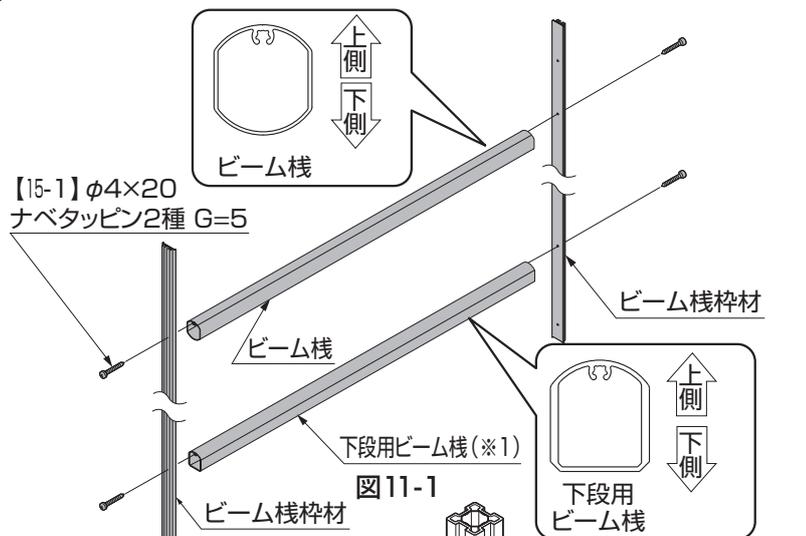


図11-1

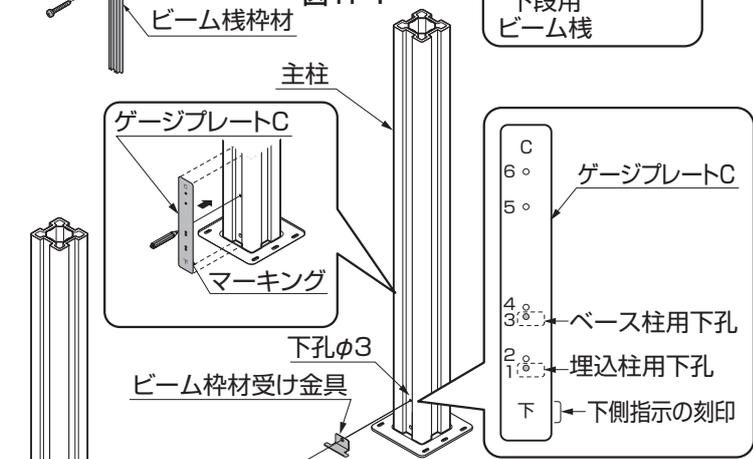


図11-2

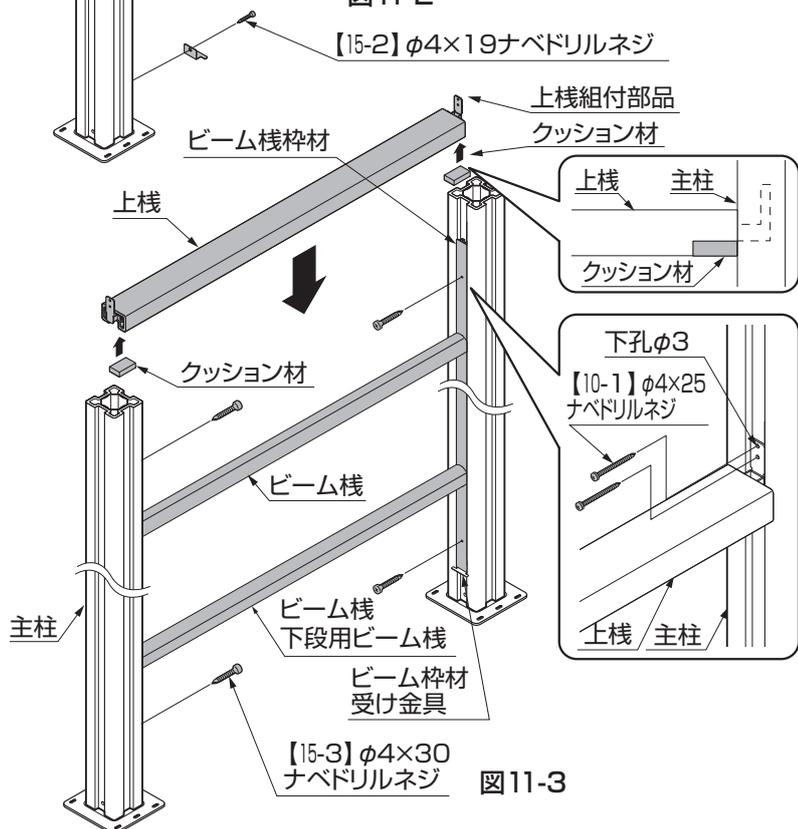


図11-3

- ①ビーム棧枠材にビーム棧を、【15-1】で固定してください。
- ②両端から1つ目の加工孔以外へ、ビーム棧および下段用ビーム棧を固定してください。

ポイント

- サイズによってビーム棧の本数が異なります。
- ビーム棧には上下があります。(図11-1参照)
- T-8、T-10の場合、下段用ビーム棧は下側だけに組付けてください。(※1)

- ③パネルを入れる側の面の柱の底面に、ゲージプレートCの下面を合わせてください。(図11-2参照)

ポイント

- ゲージプレートCには上下があります。「下」と刻印してある側を下に合わせてください。(図11-2参照)

- ④印を付けた支柱溝部のネジ位置に、φ3の下孔をあけてください。
- ⑤ビーム棧枠材受け金具の下孔にそって主柱に、【15-2】で固定してください。

ポイント

- ベース柱には3の孔を使用してください。埋込柱には1の孔を使用してください。(図11-2参照)

- ⑥上棧下側の両端の溝にクッション材を貼り付けてください。
- ⑦組付けたビームパネルをスライドさせて取付けた後、上棧を組合わせて組付け位置を決めてください。
- ⑧柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそって、φ3の下孔をあけ、【10-1】で固定してください。
- ⑨ビーム棧枠材取付ネジ位置にφ3の下孔をあけ、【15-3】で固定してください。

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

12. クロスパネルの組付け

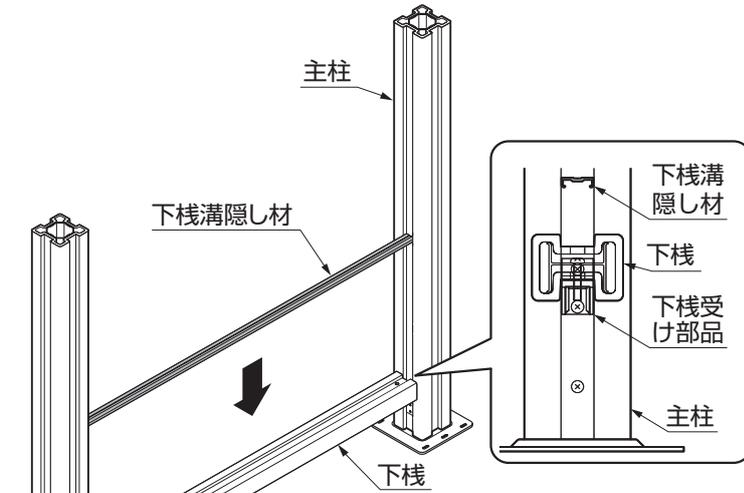


図 12-1

- ①下棧溝隠し材を主柱にスライドさせて、下棧の溝に取付けてください。

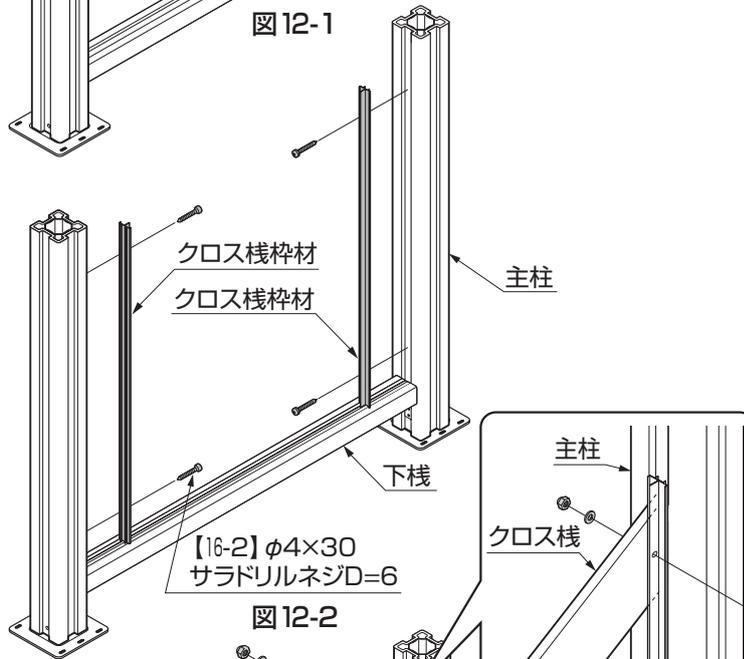


図 12-2

- ②クロス棧枠材を主柱溝部に、下側のみφ3の下孔をあけ、【16-2】で取付けてください。

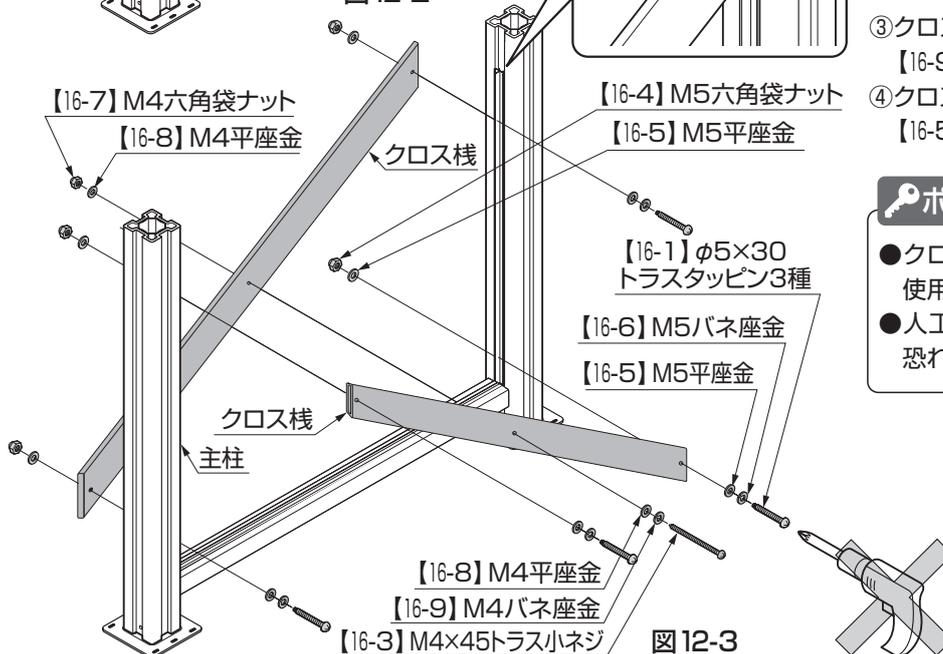


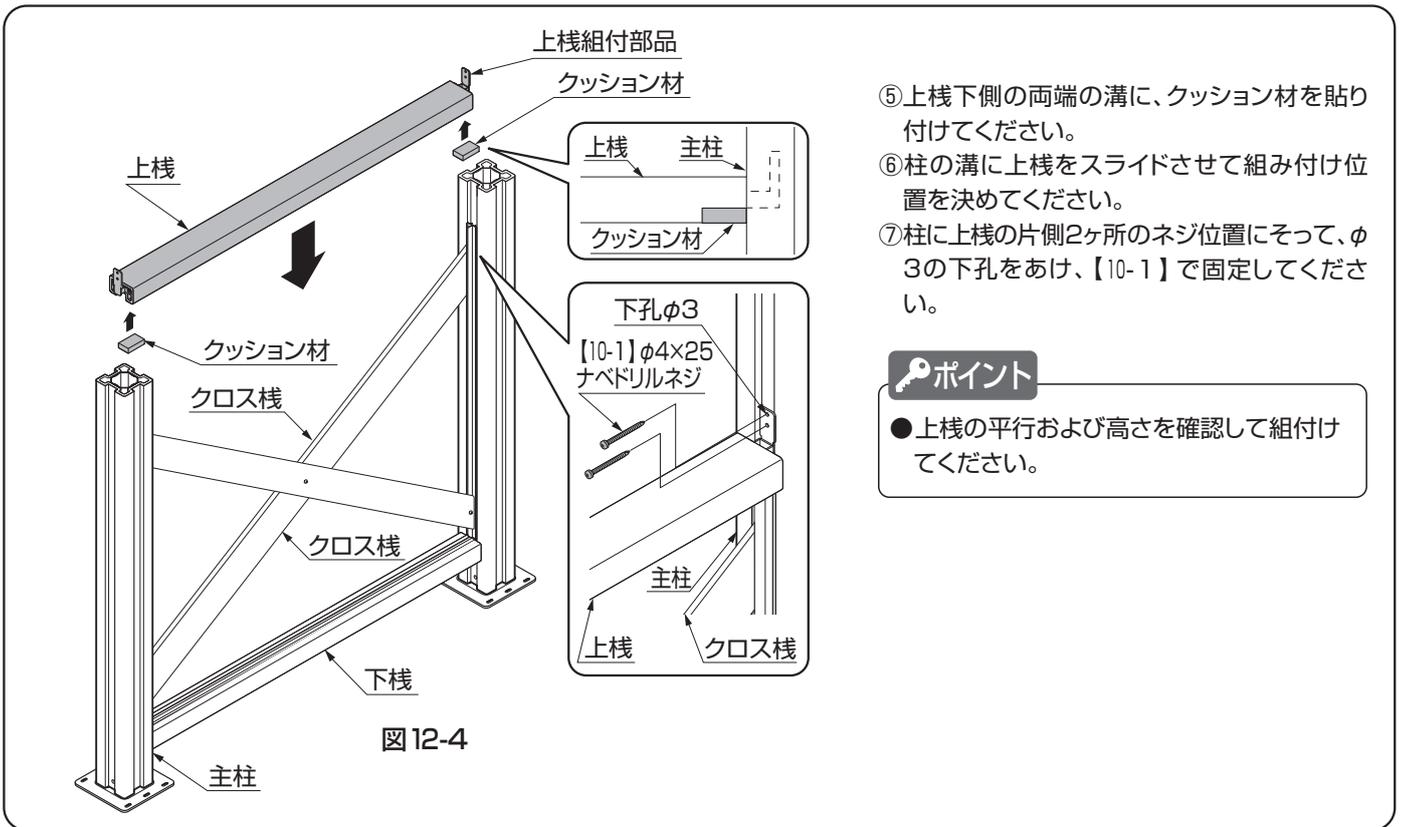
図 12-3

- ③クロス棧の中心に【16-3】、【16-7】、【16-8】、【16-9】で固定してください。
④クロス棧枠材にクロス棧を【16-1】、【16-4】、【16-5】、【16-6】で4ヶ所取付けてください。

ポイント

- クロス棧の取付けには電動ドライバーを使用しないでください。
- 人工木はネジを締め込みすぎると割れる恐れがありますので注意してください。

12. つづき

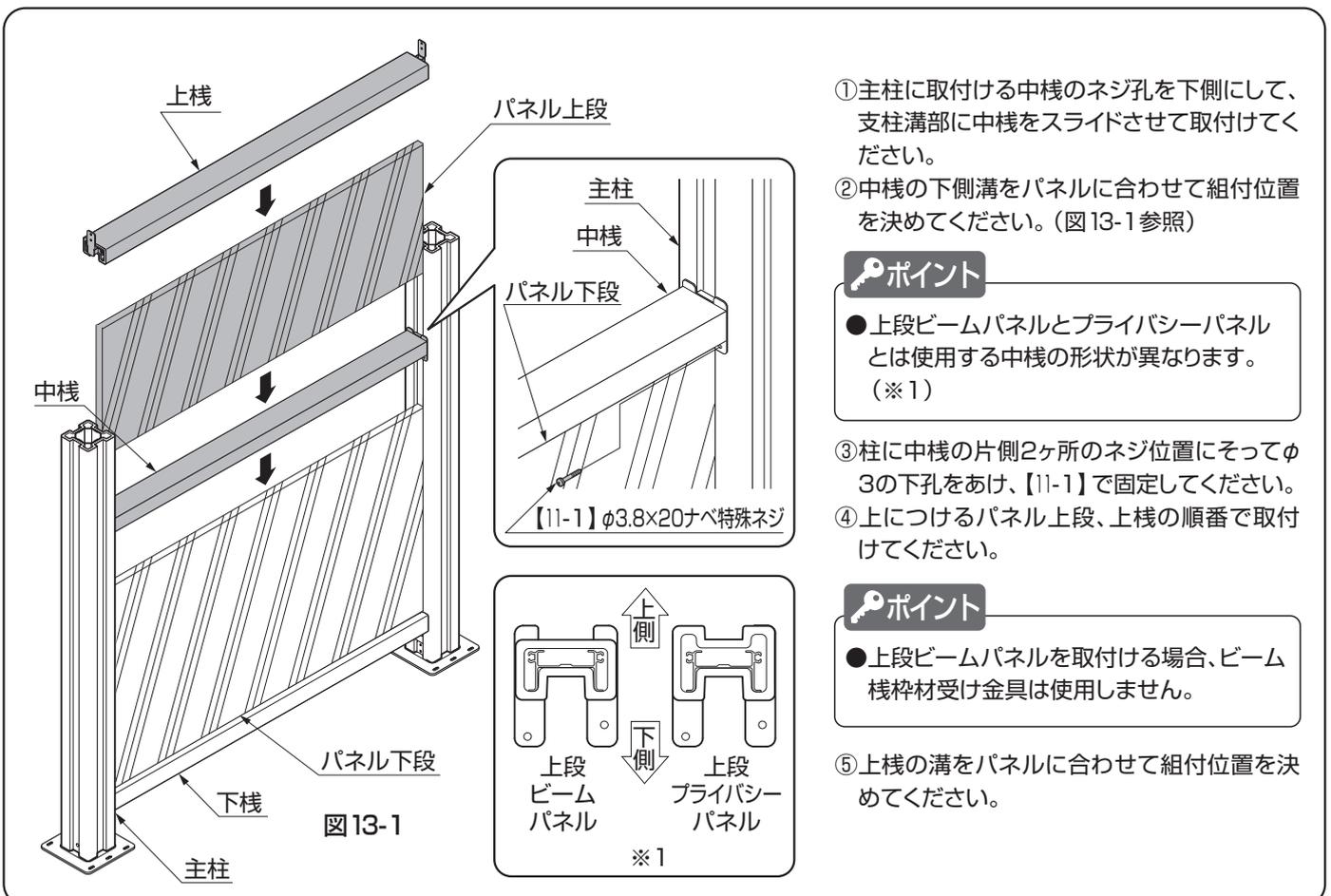


- ⑤上棧下側の両端の溝に、クッション材を貼り付けてください。
- ⑥柱の溝に上棧をスライドさせて組み付け位置を決めてください。
- ⑦柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそって、φ3の下孔をあけ、【10-1】で固定してください。

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

13. 2段フェンスの取付け



- ①主柱に取付ける中棧のネジ孔を下側にして、支柱溝部に中棧をスライドさせて取付けてください。
- ②中棧の下側溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。(図13-1参照)

ポイント

- 上段ビームパネルとプライバシーパネルとは使用する中棧の形状が異なります。(※1)

- ③柱に中棧の片側2ヶ所のネジ位置にそってφ3の下孔をあけ、【11-1】で固定してください。
- ④上につけるパネル上段、上棧の順番で取付けてください。

ポイント

- 上段ビームパネルを取付ける場合、ビーム棧材受け金具は使用しません。

- ⑤上棧の溝をパネルに合わせて組付位置を決めてください。

13. つづき

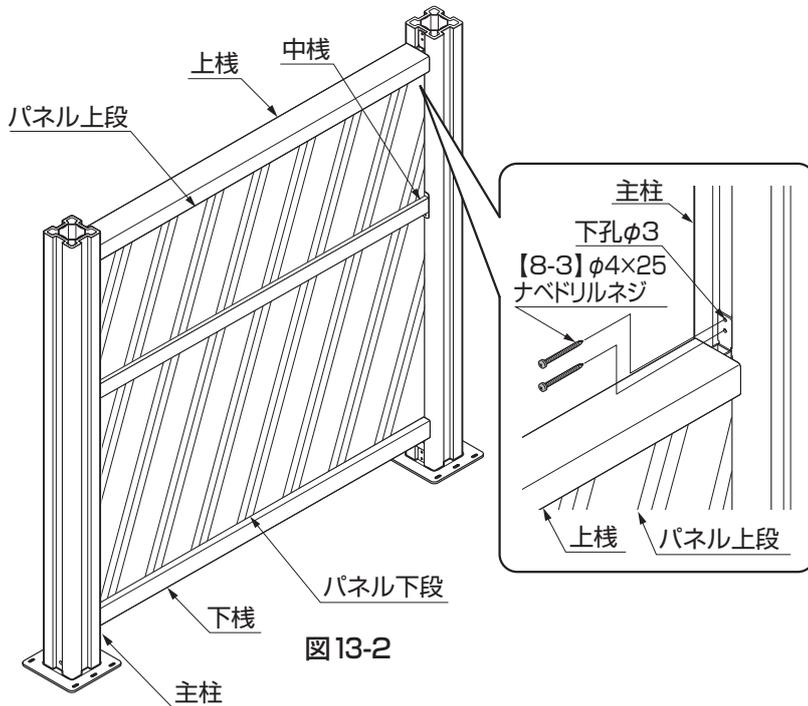


図13-2

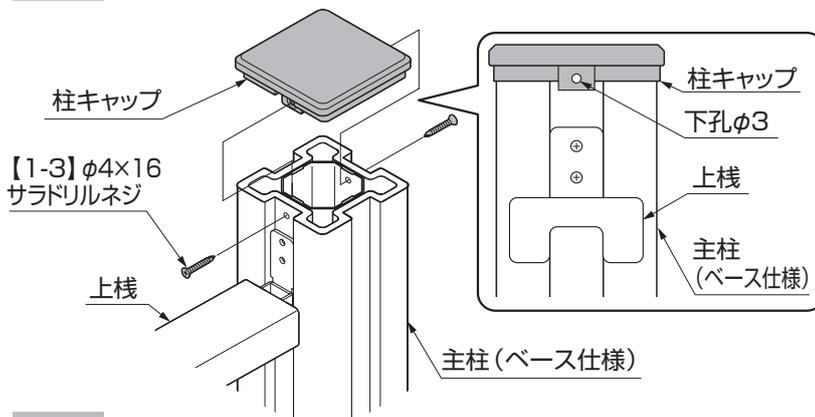
- ⑥ 柱に上棧の片側2ヶ所のネジ位置にそってφ3の下孔をあけ、【8-3】で固定してください。
- ⑦ 上段パネルが横ビームパネルの場合、上棧の両端の溝にクッション材を取付けてください。(11.「横ビームパネルの組付け」参照)

ポイント

- 上棧の平行および高さを確認して組付けてください。

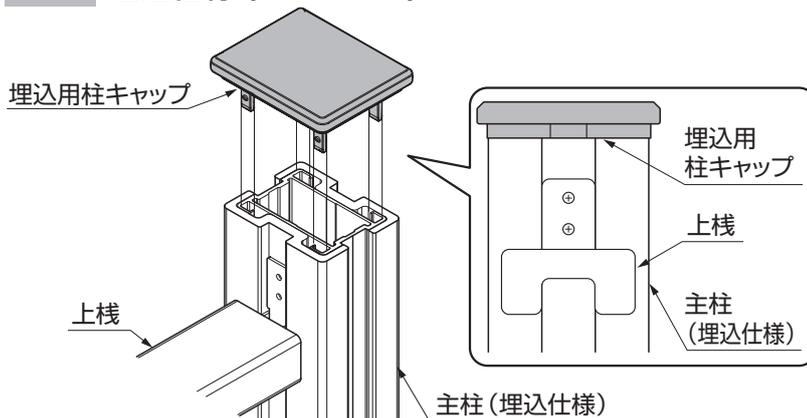
14. 柱キャップの取付け

14-1 ベース仕様・埋込仕様 (T-8~12)



- ① パネルが取付いている向きに柱キャップのネジ位置を合わせてから、柱キャップのネジ位置にそって柱にφ3の下孔をあけてください。
- ② 柱キャップを主柱に【1-3】で固定してください。

14-2 埋込仕様 (T-14、18)



- ① 埋込用柱キャップを主柱に差し込んで固定してください。

15. パネルの幅切詰め

15-1 パネルの幅切詰め

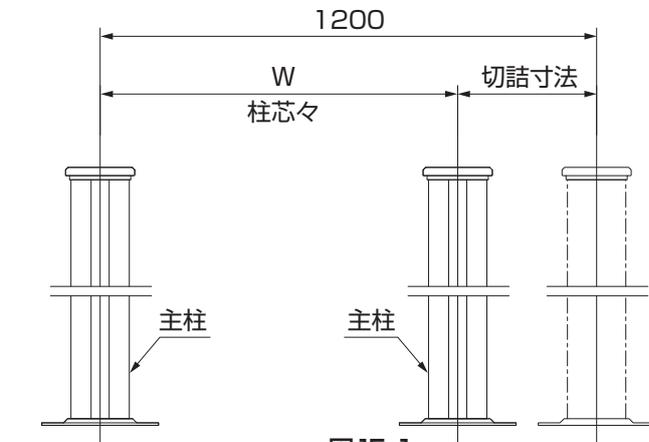


図 15-1

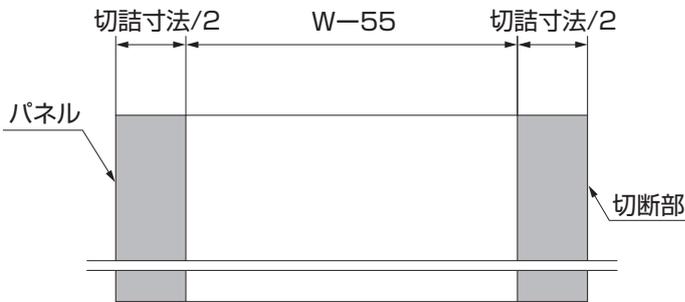


図 15-2

15-2 上棧の幅切詰め

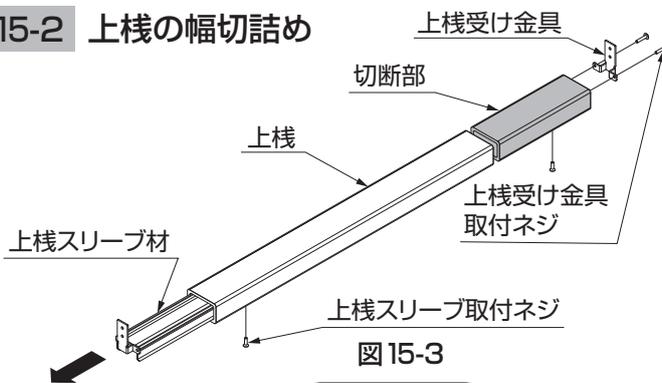


図 15-3

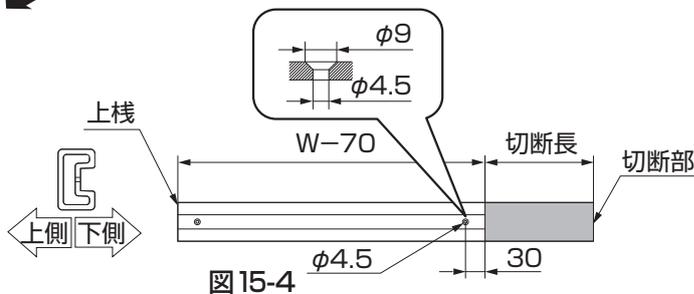


図 15-4

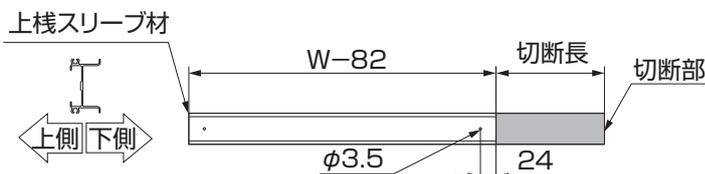


図 15-5

①切詰める寸法の柱ピッチを実測してください。

②パネルを「W-55mm」で両端から同ピッチで切断してください。

ポイント

- 井桁格子パネルの切詰は以下の通りに行ってください。
 - ・ W1200 : 138mmピッチ
 - ・ W750 : 両端120mm・両端以外138mmピッチ

①上棧を切詰める側の上棧受け金具をはずしてください。

②上棧スリーブ取付ネジをはずして、上棧スリーブ材を取り出してください。

③上棧を「W-70mm」、上棧スリーブ材を「W-82mm」で切断してください。

ポイント

- 上棧と上棧スリーブ材の下側から孔をあける際、上側まで貫通しないでください。

④上棧を切断した側から30mmのところ、 $\phi 4.5$ の下孔と $\phi 9$ サラ取り加工してください。(図15-4参照)

⑤上棧スリーブ材を切断した側から24mmのところ、 $\phi 3.5$ の下孔をあけてください。(図15-5参照)

⑥加工後、再度組立ててください。

15. つづき

15-3 中棧の幅切詰め

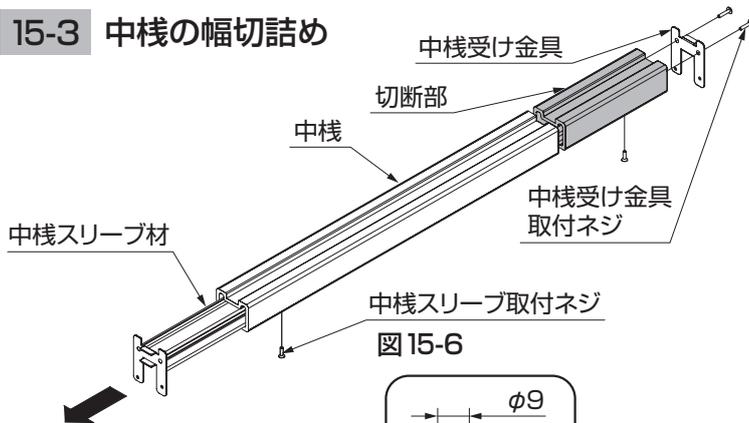


図 15-6

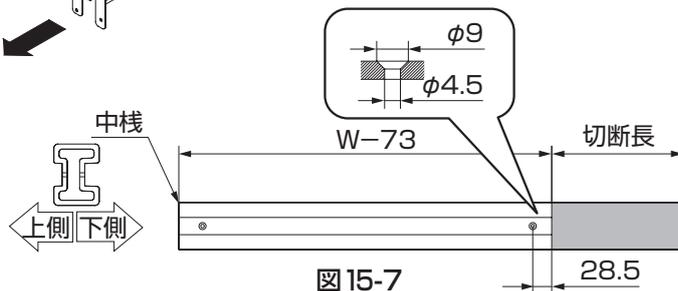


図 15-7

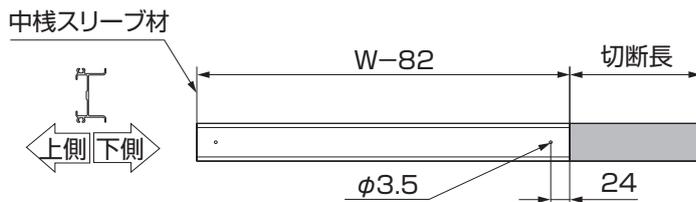


図 15-8

15-4 下棧の幅切詰め

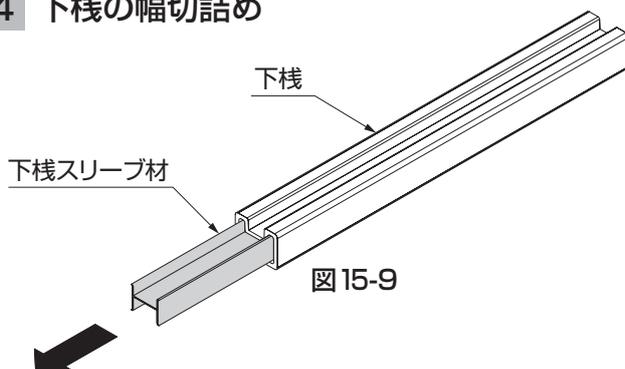


図 15-9

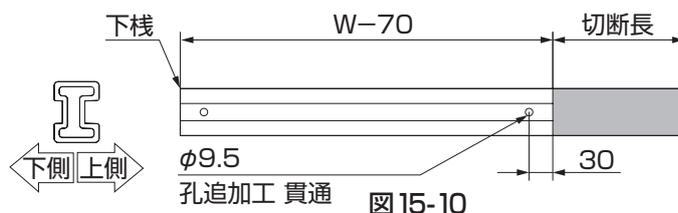


図 15-10

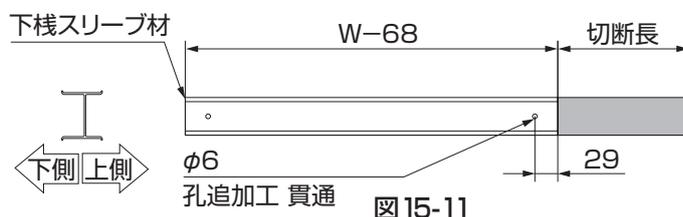


図 15-11

- ① 中棧を切詰める側の中棧受け金具をはずしてください。
- ② 中棧スリーブ取付ネジをはずして、中棧スリーブ材を取り出してください。
- ③ 中棧を「W-73mm」、中棧スリーブ材を「W-82mm」で切断してください。

ポイント

- 中棧と中棧スリーブ材の下側から孔をあける際、上側まで貫通しないでください。

- ④ 中棧を切断した側から28.5mmのところからφ4.5の下孔とφ9サラ取り加工してください。(図15-7参照)
- ⑤ 中棧スリーブ材を切断した側から24mmのところからφ3.5の下孔をあけてください。(図15-8参照)
- ⑥ 加工後、再度組立ててください。

- ① 下棧を切詰める側の下棧受け金具をはずしてください。
- ② 下棧スリーブ材を取り出してください。
- ③ 下棧を「W-70mm」、下棧スリーブ材を「W-68mm」で切断してください。

ポイント

- 下棧と下棧スリーブ材の孔は上側から下側まで貫通してあけてください。

- ④ 下棧を切断した側から30mmでφ9.5の下孔を貫通してあけてください。(図15-10参照)
- ⑤ 下棧スリーブ材を切断した側から29mmのところからφ6の下孔をあけてください。(図15-11参照)
- ⑥ 加工後、再度組立ててください。

15. つづき

15-5 クロスパネルの幅切詰め

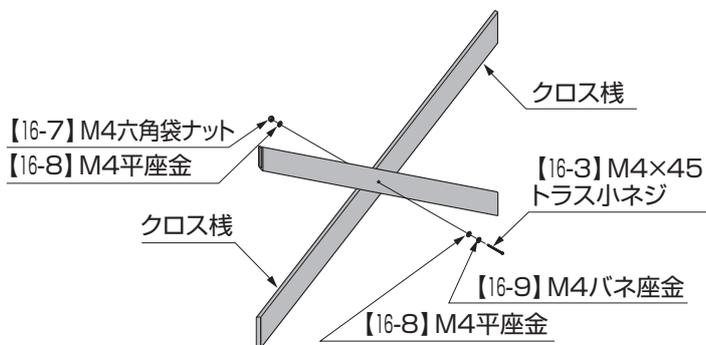


図 15-12

①クロス棧の中心に、【16-3】、【16-7】 【16-8】 【16-9】 仮止めしてください。

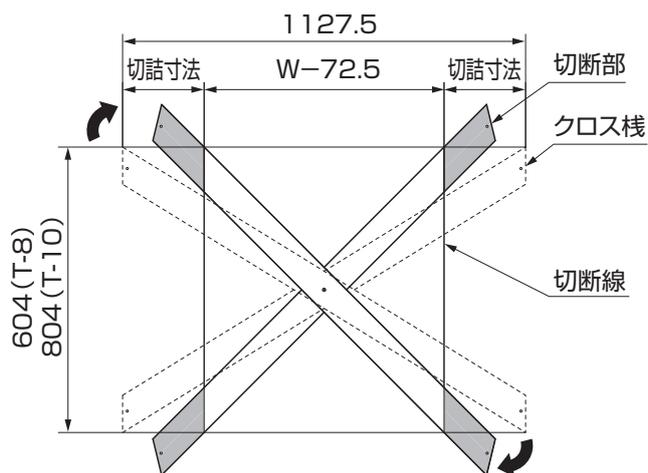


図 15-13

②クロス棧の角度を調整し「W-72.5mm」に応じた全体寸法になるように左右均等切断線を描き、切断してください。

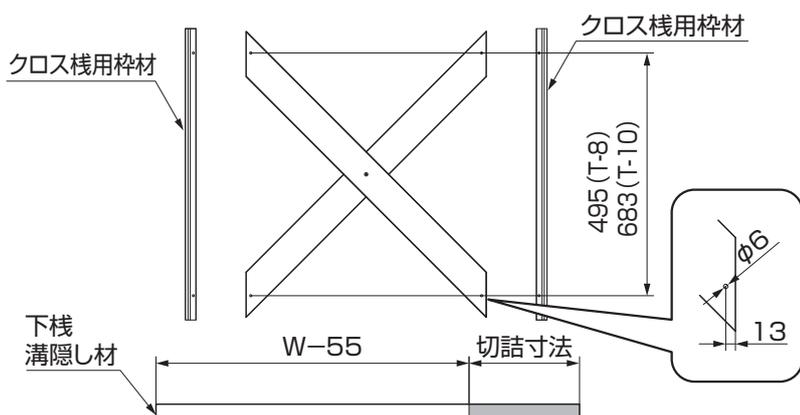


図 15-14

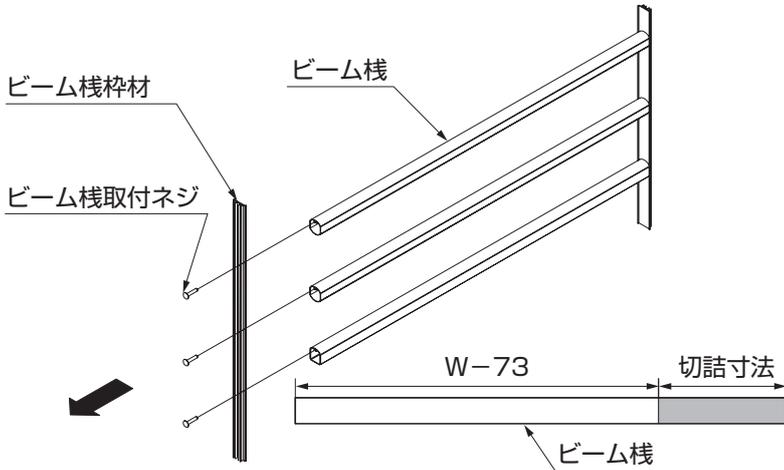
③クロス棧に、φ6の孔をあけてください。

④下棧溝隠し材を「W-55mm」に切断してください。

⑤加工後、仮止めした【16-3】、【16-7】 【16-8】 【16-9】 をはずして、「12.クロスパネルの組付け」を参照して柱に取付けてください。

15. つづき

15-6 横ビームパネルの幅切詰め



- ①ビームパネルを切詰める側のビーム棧枠材を取りはずしてください。
- ②ビーム棧または下段用ビーム棧を「W-73mm」で切断してください。
- ③加工後、再度組立ててください。

15-7 ポリカパネルの幅切詰め

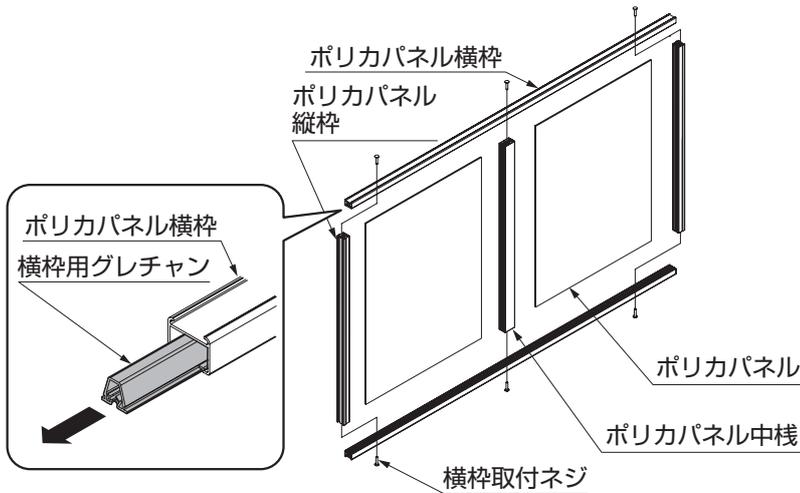


図 15-15

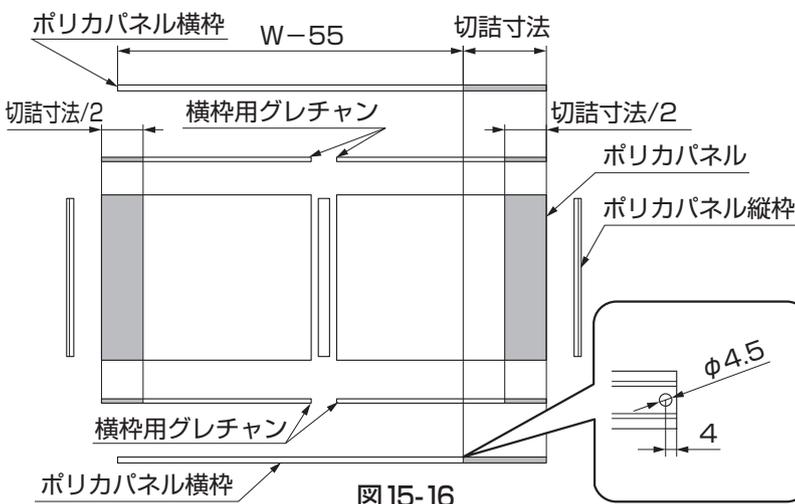


図 15-16

- ①ポリカパネルを分解してください。
- ②ポリカパネル横枠から横枠用グレチャンを取出してください。(図 15-15 参照)
- ③ポリカパネル横枠を「W-55mm」で切断してください。
- ④続いて横枠用グレチャン、ポリカパネルを両端から切断してください。
- ⑤ポリカパネル横枠に切断した側から4mmのところをφ4.5の孔をあけてください。(図 15-16 参照)
- ⑥加工後、再度組立ててください。

16. 下棧LED照明ユニットの取付け **オプション**

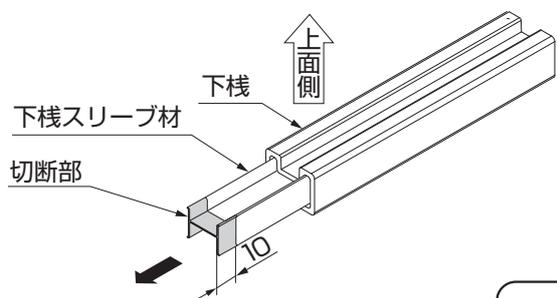


図16-1

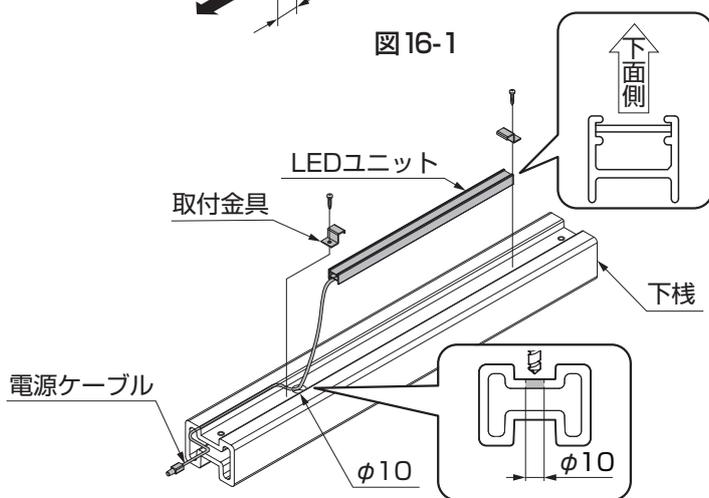


図16-2

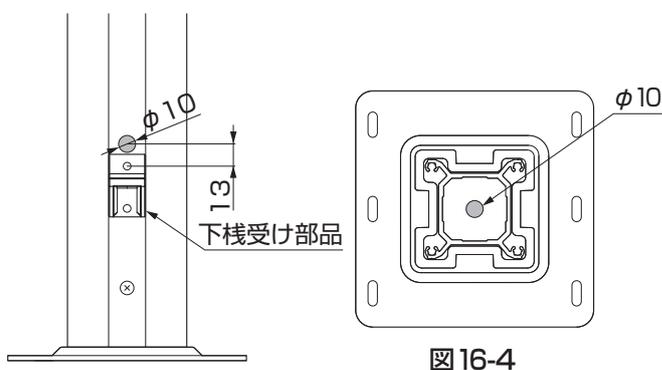


図16-3

図16-4

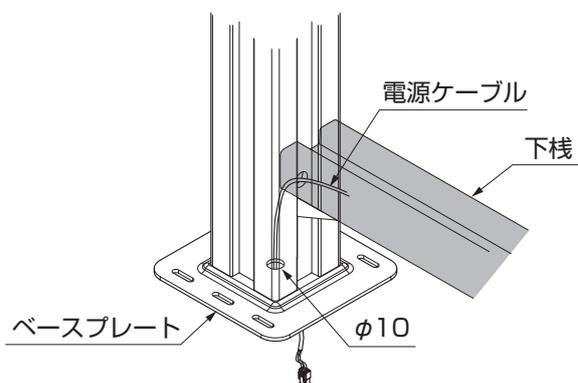


図16-5

①下棧スリーブ材を抜き取り、配線を通す側のスリーブ材の端部を10mm切断してください。

②LEDユニットを取付ける位置を確認して、下棧の溝に $\phi 10$ の下孔をあけてください。(図16-2参照)

③切断した下棧スリーブ材を下棧に差込み、配線を下棧の内側溝にはようようにしてください。

ポイント

●下棧スリーブ材を下棧に差込む際、配線に引っかかって、傷つく恐れがあります。強く入れずに慎重に差し込んでください。

④下棧スリーブ材の位置を合わせた後、LEDユニットを下棧に取付金具で固定してください。

⑤下棧受け部品の上部取付け孔より13mm上側の位置に、柱と柱スリーブ材へ $\phi 10$ の下孔をあけてください。

⑥配線をベースプレートの中心孔まで、傷付けない様に慎重に通してください。

ポイント

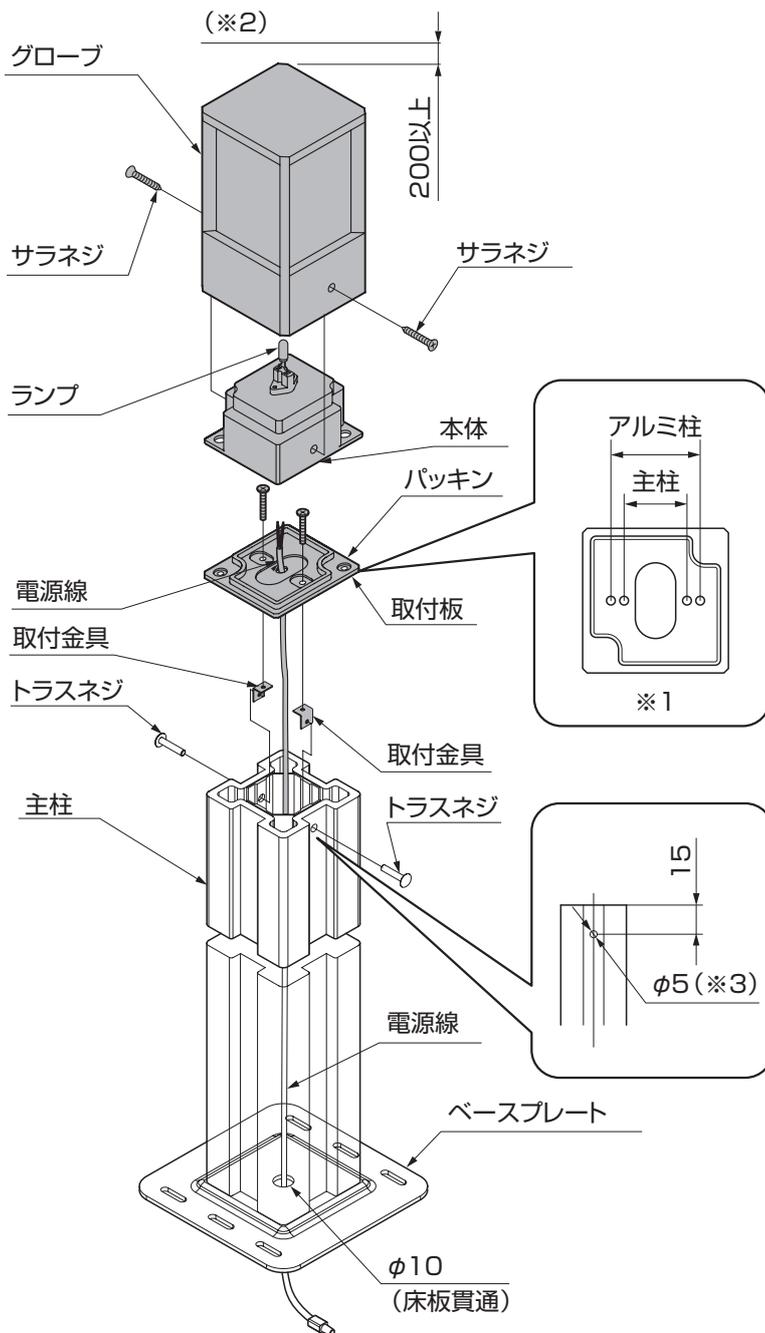
●あらかじめベースプレートが取付く面の床板に $\phi 10$ の貫通孔をあけてください。

⑦下棧を柱に固定してください。

補足

●配線方法などの詳細は、「カラーコーピングユニット〈Z217〉」の取付説明書を参照してください。

17. 門柱灯の取付 **オプション**



- ①取付金具を取付板に固定する為、パッキンにネジが通る孔をあけてください。

ポイント

- 主柱の場合は内側、アルミ柱の場合は外側に孔をあけてください。(※1)

補足

- 電球交換などのメンテナンス作業をするためには、グローブ天面に200mm以上のスペースが必要です。(※2)

- ②柱に門柱灯を取付ける為の下孔をあけてください。(※3)

- ③電源線を柱の中に入れ、ベースプレートの孔まで配線を傷付かない様に慎重に通してください。

- ④柱照明本体を取付けてください。

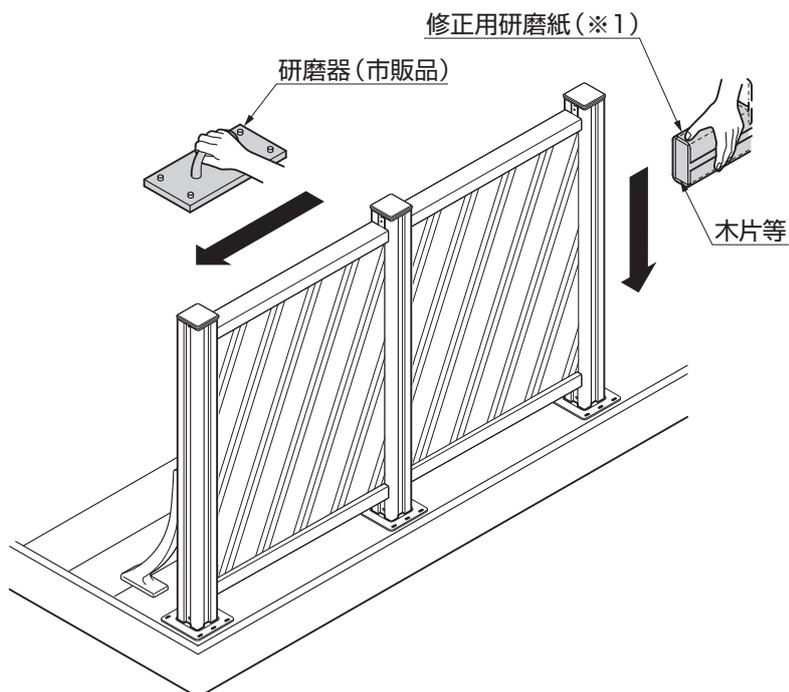
ポイント

- あらかじめベースプレートが取付く面の床板にφ10の貫通孔をあけてください。

補足

- 配線方法などの詳細は、「門柱灯 DHH-3 型〈Z219〉」の取付説明書を参照してください。

18. 施工後の仕上げ



ポイント

- 施工後、表面に付いたすりキズは取付説明書に同梱している修正用研磨紙で補修してください。
- 1ヶ所を集中的に擦るのではなく、全体をぼかす感じで磨いてください。
- 平らな部材を修正用研磨紙の裏から補助的に添えて、研磨紙面をフラットに当てるようにしてください。(※1)
- 製品お引き渡しの際は、お客様に修正用研磨紙による補修方法について説明をしてください。

補足

- 市販の研磨器等(研磨紙を取付ける器具)を使うときれいに仕上げることができます。
- 市販の研磨紙を利用する際は、60番の研磨紙を使用してください。

